…[illegible]…に保合たるが大阪五節四十九錢と高寄りに三錢方引續き返して保合の裡に前會

▲前場の商戰 …[illegible]…四百石買今五百石賣二千五百石賣千二百石買へ八百石賣八百石買一五百石賣五百石買三二百石買二百石 …[illegible]…保合の裡に小堅き散會を告げたが保合相場の常態として小堅き裡に伸び悩みの態かある恐れ買歡事には今勁の買向けん無勢なる…安値を買向 …[illegible]…賣も必需に買進むの止むなき場合となり昨午後節力稍九圓五十五錢地摺上九圓二十錢にて商談行はれ一時の安値より三四十錢高を示すに至れり …[illegible]…で保合居れる當地期米は…如何なる動機に依り變動し來るなるが目下の正米より見て前に期米の割安を…する…には行かぬが…き米界となり來りつゝある …[illegible]…連れて今日の…頭に…を支持しつゝあるが…動の…として小幅の手…くせられつゝある時代にあれば今後は保合一時なりと…以上意外の安値

京城日報

朝刊と合せて十頁

定價 一部金二錢 一ヶ月金五拾錢 …[illegible]…
廣告料 …[illegible]…
發行兼編輯人 …[illegible]… 印刷人 …[illegible]…
發行所 京城日報社 …[illegible]…

完からしめむことを期す可し凡そ物には創業と守成との二期あり從來醫療機關の擴張に努めたるは所謂創業の時期に於ける焦眉の急務に屬せしも今や將に進むで守成の境に入らむとす、成を守るは寧ろ業を創むるよりも難し將來各位は益々內容の整頓充實を圖ると共に倍々醫術の研鑽を怠らず永く民衆の信賴に背かざらむことに努む可し

各醫院の院舍中不完全なるもの多きは夙に認むる所にして逐次之を改善修築するの計畫を立てしめたりと雖も費用巨額に上り未だ遽に完成を期すること能はざるものあり、是れ洵に財政上已むを得ざるに出づ、各位は克く此事情を諒とし之を補ふに經理の周到と治術の優劣とを以てし困苦に勝ち缺乏に堪へ其職務に忠實ならむことを望む軟弱なる衞生は保生に益なく風氣に害有り決して健全なる國民を養成する所以にあらず故に醫員たる者は己を持すること勤恪にして克く官紀を嚴守すると同時に人に接すること懇摯にして導くに健剛の性を以てせざる可からず、官紀の嚴肅は從來屢々諭示せし所にして醫院の職員たる者宿に服膺遵守しつゝあるを疑はずと雖も將來一層部下を督勵して些の失體なからしめ以て醫療衞生の本旨を徹底するに於て遺憾なきを期す可し

大正四年十月十四日
朝鮮總督伯爵 寺內正毅

◎奉戴御眞影

朝鮮總督府奉戴の御眞影五十五枚は總督府屬供奉十四日午前釜山着一貨切車にて同十一日發京城へ向へり（釜山特電）

◎河野農相一行

河野農相一行十四日午前關釜連絡船より上陸したるが同日枝光の八幡製鐵所を視察し同夜下關春帆樓に一泊す一行は十五日午前六時五十分上り列車にて歸東す可し（門司特電）

◎後藤男爵

後藤新平男十四日午前六時四十分安東著少憩の上同七時廿分京城へ向ふ（安東電報）

◎西部鐵道視察團

西部鐵道管理局主催朝鮮視察團一行は十三日午後釜山發連絡船にて歸東せり（[illegible]特電）

◎スターヂ博士

スターヂ博士東京より十四日午前下關著直に關釜連絡船にて渡鮮す（門司特電）

雜報

◎寺內總督訓示

各道慈惠醫院長會議に於て

各道慈惠醫院長會議は十四日既記の日程を議了して午後三時閉會したり、同日寺內總督の與へたる訓示の概要左の如し

新政施行以來茲に五年の星霜を閱し諸般の經營漸く其步を進むるに至れり此間時勢の要求に應じて醫療機關の擴張を圖り今や總督府醫院の外全土を通じて十八箇所の慈惠醫院を設立するに至り尙ほ醫院所在地外に於ては巡回診療の途を開き且各地に公醫を配置し又看護婦及び助產婦の養成を圖り以て一般の民衆をして廣く其惠澤に浴せしめむことを期せり、殊に慈惠醫院の診療患者數は逐年增加し始政初年の患者總數は僅に四十八萬八千五百餘人ありしに大正三年の患者總數は二百四十萬八千百餘人を算するに至れり其大部分は朝鮮人施療患者に屬するも內地人の普通患者數も亦始政初年には九萬五千餘人に過ぎざりしもの大正三年には五十八萬二千二百餘人の多きに達せり、斯の如くにして內鮮人とも漸次醫療の惠澤に浴する者增加するは本總督の滿足する處なり

慈惠醫院は朝鮮の現狀に於て設備比較的完全なるを以て道に於ける中央醫療の機關として公醫及び一般開業醫の模範と爲り之が啓發指導の職責を有するのみならず各道內に於ける衞生上の中樞機關として地方衞生狀態の改善に努力す可き任務を有するものなり、各位は克く此職責を自覺し診療事務に精勵すると共に地方衞生上の施設に參畫し民衆保健の途を

●朝鮮金融業者大會（第二日）

懇話會席上經濟講演

類似の點にして研究すべき問題多々存す而して

朝鮮金融業者大會は前日に引續き十四日午前十時より朝鮮ホテル會議室に於て開會荒井度支部長官臨席す當日は出席者中の有志より經濟上の意見談話を交換したり、水越座長開會の辭を宣し漢城銀行專務韓相龍、臺灣商工銀行主事曾我純太郎、大連銀行取締役長濱敞介、東拓理事村田俊彥、朝鮮銀行出納局長大田三郎、漢湖農工銀行支配人遠山熙の諸氏の順序にて講演をなしたり

▲韓相龍氏 劈頭同氏は流暢なる日本語を以て朝鮮に於ける商取引と金融の關係について實例を示して過去現在の制度を述ぶ大要左の如し

從來朝鮮に於ては一定の金融機關なく商人各自が金融機關の各一分子たるの觀あり過去に於て決濟の方法として『魚驗』と稱するものを個人間に發行し魚驗は當時金融上缺く可らざる要素にして一覽拂約束手形に似て一定の紙片の中央部に金額を記し右方に住所姓名を記し捺印し手又は小刀にて切れば魚形をなす故此名あり今日より考ふれば甚だ不完全のものなれども當時に在りては頗る便利とせられ後ち『於音』と改め稱するに至れり然れども次第に弊害を生じ明治三十四五年頃白銅貨の濫造と共に其弊極に達し目賀田顧問の財政整理の結果約束手形の使用盛になり魚驗即於音の流通は殆ど姿を沒するに至れり

とて今日の金融機關の發達に說き及ぼせり

▲曾我純太郎氏 は臺灣と朝鮮の經濟的關係について述べて曰く

臺灣朝鮮の兩者につき考ふるに從來餘り密接なる關係は之れ無きが如くなれども、此の兩者は夫々同じき關係に在るもの少なしとせず例へば臺灣は米が重要なる產物にして朝鮮亦然り故に米價下落の如き場合に蒙むる影響は兩者相同じきものあり臺灣には樟腦を產し政府專賣なり朝鮮には人蔘を產し同じく政府專賣なり其他數へ來れば

▲長濱敞介氏 は滿洲殊に大連の金融機關に就て述べて曰く

滿洲特に大連に於ける金融機關は正金銀行、正隆銀行、露亞銀行、朝鮮銀行、香港上海銀行、查打銀行、露亞銀行、朝鮮銀行及大連銀行等にして正金は日露役時代に第一著に日本の銀行業を開き今日に至り、正隆は初め營口の軍政時代に日支合辦に成りしが中途に經營困難となりて安田系銀行として今日重きをなす、朝鮮銀行は近來頗る勢力を占め來るを見る、而して大連方面の通貨は日本側銀行に在りては日本兌換券、朝鮮銀行金票、正金の一覽拂手形等あり過去に小取引には金銀共に用ゐられ過去に於ては日本に對する取引も大部分は銀本位にて正金の一覽拂手形を主とせしが滿鐵も都督府も支拂に金を用ふるに至り且つ市中取引も金の關係より日本に對しては取引に金を使用する事となれり而して金本位のものは五割五分の多きに達し漸次進んで今日にては重要貿易品たる我が棉糸布の如きも殆どその八九分通りは金建にして銀は僅かに特產物取引の建値に用ゐらるゝ有樣也其他奉天方面の金融營口の生命たる過鑪銀の消長等を述べて近き將來に於ては日本の貿易上の地位の高まるに從ひ金が勢力を得來るを信じて疑はずと結びて

▲村田俊彥氏 は朝鮮の產物を主として詳細に語りたきも時日なき故他日に讓り只聊か參考の爲めにとて

遊ぶもの必ずしも遊ぶに非ず遊ぶも亦經濟の爲めなり釜山より義州まで汽車中より見れば經濟上見るべきもの少きが如くなれども若し湖南線に入らば見るべきもの甚だ多きを知らむ米產地として一望千里の平野は南に全州平野北に礪鉉平野あり俱に見るべき價値充分なり故に鐵道沿線のみを見て朝鮮は斯くの如きものなりなどと誤解なき樣希望す今日の處朝鮮は農產物と鑛物とを以て最有望とし鑛物は北に多く必ずしも北鮮に行かずとも西鮮を見ても大體を知り得む

とて要點を列擧し

▲大田三郎氏 は京城手形交換所の地位につき及び將來朝鮮に於て有望なる物產に關して述ぶ

京城の手形交換所は明治四十三年七月初めて起され當時の手形交換高は一箇月に二百四十萬圓なりしが、昨年末には五百六十萬圓となれり、之を內地の手形交換所に比し如何なる地位に當るや、昨年下半季（十二月）に於て最大額に上れるは東京の四億四千萬圓、最小額は金澤の二百六十萬圓、而して廣島は二百八十萬圓、函館五百五十萬圓下關九百九十萬圓なりされば

京城は下關と函館との中間に位すと謂ひ得べく、僅かの期間に京城は手形交換に於て日本有數の都會に伍するに至れり

次に朝鮮に有望なる物產に就て曰へば（一）米產高は昨年千二百萬石、一昨年は千萬石、水田耕地反別は百二萬餘町步なり內地の米作は昨年五千七百萬石にして約六千萬石とす、水田面積は三百萬町步なり即ち內地は百萬町步にて二千萬石の收穫にして朝鮮は百萬町步にて千萬石あり氣候の關係も良好なれば若し水利灌漑施肥耕作法等が改良さるゝに於ては內地同樣の程度に達せしむる敢て困難に非ず（二）朝鮮の繭は頗る有望にして昨年は四萬六千石の產に過ぎざりき內地は三百六七十萬石を產すれども而かも古代より之を產せしに非ずして德川時代に支那其他より輸入し獎勵せる結果に外ならず朝鮮は空氣乾燥し極めて養蠶に適す方法宜しきを得ば今日の四萬六千石を三百萬石に增殖する事至難とせざるべし（三）朝鮮の貿易の現狀に見て將來朝鮮產業の甚だ有望なるを知り得べし即ち移入の增進額と移出の增進額とに非常の相違あり明治四十一年と昨年との狀態を比するに移入の增加率は五割なるに移出の增加率は實に二十三割に達す以て朝鮮產業の進步の大なるを知り且つ將來の有望をトすべし

▲遠山熙氏 は朝鮮に於ける農工銀行側より一言なかる可らずとて

朝鮮は其面積は內地本土と略同じ而して普通銀行は既に各種ありて商業方面に遺憾なく任務を盡し居りしも多數農民に資金を供給するの機關は過去に缺如せしが目賀田顧問の時代に初めて農工銀行の設立を見たり現在の農工銀行を擧ぐれば漢湖農工は京畿、江原、忠北、忠南に跨がり平安農工は平北、平南、黃海に、成鏡農工は成北、成南、江原に、慶尙農工は慶南慶北に、而して全州農工は全北一圓に、公州農工は全南一圓に割據して本店六、支店三十七所あり

とて農工銀行經營の狀態を說き之にて講演を終了す閉會に先だち

村田俊彥氏は諸ろべき一事ありとて此の大會を開くに當り朝鮮銀行總裁市原盛宏氏の盡力洵に大なるものあり、此の大會の成れるは同氏が實に內地各地に於いて勸誘の努力に負ふ所大なり、而して大會茲に開かれ將來內地朝鮮の經濟關係に貢獻する處大ならむとするに際し市原氏が病の爲め開會前に逝去せるに遭ふ遺憾何ぞ堪へむ、此の機會に於て座長を通じ且つ其方法は座長に一任する事とし故市原氏の墓前或は靈前に此の大會の開會を欣ぶ吾人の情切なるものあるを報告したしと提議するや滿場一致拍手を以て贊し水越座長より直ちに大會の意を故市原氏の靈に告ぐる事とし更に同氏は朝鮮銀行として『滿外銀行』及び『朝鮮銀行五年誌』を寄贈したるにつき一言し最後に第十八銀行仁川支店長毛利甫吉氏は朝鮮金融業者の大會員を代表して挨拶謝辭を述べ又北海道拓殖銀行取締役關宗喜氏は內地側銀行業者を代表して謝辭を述べ最後に水越座長は本大會の閉會に臨み總て好都合に經過したるを欣ぶ旨を告げて挨拶をなし閉會一同慶會樓に於ける協贊會の招待會に赴けり

●荒井長官東上

金融業者大會の爲め一時東上を見合はせ居たる荒井度支部長官は大正五年度朝鮮總督府豫算に關し中央政府と交涉の爲め愈十五日午前八時三十分南大門驛發汽車にて東上に決せり

●目賀田夫人送別會

目賀田男爵夫人は十五日午前八時三十分南大門驛發汽車にて歸東に決したるより齋館の人々發起となり十四日午後六時三十分より朝鮮ホテルに於て盛大なる送別會を開催す

●露領事入京

釜山駐在露國領事は十四日午前八時五十分南大門驛著汽車にて、又た清津駐在露國領事は長崎より同列車にて何れも入京露國領事館に入れり

●松崎局長等退京

滯京中なりし松崎水產局長は北原伊谷兩技師と共に十四日朝仁川に赴き同地視察の上午後二時歸京し更に午後九時五十分南大門驛發汽車にて平壤に向ひ同地及び廣梁灣視察の後大連、青島に赴く可しと但し伊谷技師は廣梁灣より引き返へし復び入京の筈なり

●岸上博士退京

岸上理學博士は十四日午後七時三十分南大門驛發汽車にて退京、群山方面視察の上釜山經由歸東す可しと

●名古屋視察團入京

名古屋視察團一行六十五名は十四日午前六時二十六分南大門驛著臨時列車にて入京巴城館に投宿せり

●明鮑仕上祓式

大嘗會庭積の机代物として朝鮮より召さるゝ明鮑は濟州島に於て製し此程總督府に送附し來れるが同府水產課に於ては更に完全を期する爲め仕上の必要を感じ總督府裏の丘陵に清淨の地をトして奉仕することゝなり十四日午前十時より京城神社宮司を聘し生田水產課長其他係員一同參列の下に壯嚴なる祓式を擧行したり

●水雷艇隊入港

柳原少佐の率ゆる旅順要港部所屬第十五艇隊は十四日仁川に入港せり

●河野農相退鮮

河野農商務大臣は十三日午後八時三十分新羅丸に搭乘退鮮したり渡邊地方局長之れに隨伴せるが岡本山林局長は釜山より引き返へして復び入京し京城附近の山林を視察す可く倘ほ釜山まで見送りたる人見農務課長不破事務官は十四日朝南大門驛著汽車にて歸任したり

●後藤男爵通過

十四日夜著十五日朝發 滿洲各地視察中なりし後藤男爵は十四日午後七時三十分著列車にて入京總督官邸に一泊十五日午前八時卅分南大門驛發列車にて南下歸東の豫定也

●釜山商專生徒入京

釜山商業專修學校職員九名生徒百六名は修學旅行を兼ね共進會觀覽の爲め十四日午前八時五十分南大門著列車にて入京原金旅館に投宿せるが十四、十五の兩日は共進會觀覽及び市中の觀光をなし十六日は仁川水族館見學の上十七日午前出發歸釜する豫定なりと

觀覽團消息

▲山口高等商業學校職員生徒四十名 十三日安東縣より入京原金旅館へ
▲廣島縣視察團三十三人 同上萬千閣へ
▲高知縣視察團二十三人
▲名古屋視察團五十三人 十四日入京巴城館へ
▲清州百二十九人▲黃州百六人▲漆谷百八人▲高靈百十八人▲星州二十九人▲龍山普通學校百五人▲北靑百七十三人▲通岡江東中和百十一人▲定州百十五人（十二日共進會觀覽）

人事消息

▲北里柴三郎氏（醫學博士） 十三日午後七時五十分發內地へ
▲草間滋氏（醫學博士） 同上
▲岩井豐治氏（大阪岩井合資會社長） 同上
▲ドクター、ダブリユー、エッチ、ヤング氏 同午後九時二十分朝鮮ホテル投宿
▲西郷菊之助氏（鎭海灣重砲兵中佐）▲千輪市氏（同少佐）▲松岡平氏（同大尉）▲淺井卯吉氏（同）▲松本弘藏氏（同） 十三日釜山鎭海灣へ
▲中井猛之進氏（理學博士） 總督府囑托の同氏は京城府營內森林狀況視察の爲め十四日內地より入京
▲人見次郎氏（農務課長） 河野農相を釜山に見送り十四日朝歸任
▲不破重郎氏（事務官） 同上
▲檜垣直右氏（京畿道長官） 十三日午後水原方面より歸任
▲瀧元二郎氏（參務部長） 同上
▲柴田家門氏（貴族院議員） 十三日元山より入京
▲佐々木照山氏（代議士） 同上
▲齋藤音作氏（營林廠長） 十三日入京
▲西田、重長、藤本の四氏（代議士） 十三日內地へ
▲大塚銀次郎氏（大阪每日記者） 十三日入京支局へ
▲富士英氏（京城駐在支那領事） 十三日奉天へ
▲木內重四郎氏（貴族院議員） 十四日入京朝鮮ホテルへ
▲川島友三氏（東京每日記者） 十四日入京天眞樓へ
▲湊信三氏（[illegible]） 十四日入京不知火へ
▲松崎壽三氏（農商務水產局長） 十四日元山より入京天眞樓へ
▲矢作農學博士 十四日入京天眞樓へ
▲鈴木惣兵衛氏（名古屋商業會議所會頭） 外四名十四日入京
▲河合次郎氏（枝光製鐵所技師） 十四日安東縣へ

南言北語

チト暴につきかけたけれど支那の帝政問題は何處迄も面白く出て來るから愉快だ▲芝居の斬り合ひでもしつくり氣が合ふと大向ふを唸らす樣に帝政問題も豫定の通り行けば大喝采だ▲烏渡其の樂屋を素破抜けば先づ國民代表大會を開いて帝政を決定する▲而して帝政と決ると同時に袁氏は大總統を辭職すると袁氏を推戴する▲袁は共和宣誓の大義名分上其位に非ずと辭退し前淸宣統皇帝の即位を主張する▲宣統皇帝は國家の主宰者は袁氏に限るとて自ら禪讓する▲其處で全國の官民から袁氏皇帝たらずんば四億の民心を如何せんやと請願する▲斯う四方八方から袁氏の呼聲が高くなると然らば民意の存する處不肖を顧みずと其處で芝居の大詰が目出度出來る譯だ▲此樣に何もかも〳〵と出來てはチト興がなさ過る樣に思はるゝね▲獨逸が巴爾幹を破つたら英國の印度が危ないと書いて置いたが獨逸のロールバッハ博士も同じ事を云つて居る▲博士はまだ獨逸が支那迄も統御して大陸軍國とすると隨分云へる丈け云つたものだ▲英紙オブザーバーの主筆ガーヴィン氏は同博士の言を引き▲假ひ露國にして黑海と波羅的海で閉鎖されて仕舞つたならば將來は極東へ頭を突き出す▲さうなれば又必ず日露の衝突は免がれない▲其處で今の內に日本も二十五萬の出兵を巴爾幹にして獨墺をやつ付けるが利益だらう▲など好い事を云つて居る其の樣な事なら倘ほ更ら日本は自衞上出兵なんかしたら大變だ▲鼻の先に美味ものを吊したつて動くべき時でない以上山が轉んで來てもビクとも動かぬが日本の武士道だ▲巴爾幹の御連中の樣に思つたら其れこそ大きな思惑違ひだよ▲自分等が始めた事は自分で始末をつけるが可い人の力を賴は武士道では御坐らぬ分りましたかね

文學士寺田精一先生監修
トモダチ
（毎月一回一日發行）▽一冊十錢郵稅五厘▽半年稅共五十八錢
十一月號
▽幼いお子樣方の爲に新に生れました
▽面白い綺麗な教育的繪雜誌
▽附錄には手工美しい御大禮模型あり
發行所 東京麴町區富士見町一丁目 一葉社 電話番町四〇五八番 振替東京三一三六三番

滿洲へ往く人のみやげは大連で
支那の翡翠、硯、書畫、骨董に限る
大連の方外軒は之を廉價正札に賣る方外軒は北支那第一の支那專門骨董店にて新時代ぶりの正直確實と云ふ定評を受け居れり

水產家各位に急告す
賜天覽榮
三千獨瓦斯焚寄ランプ
岩儀式自働瓦斯發生機

◎本品の特色光輝純白にして▽點火のまゝ原料入れ替自由なれば何程長時間の使用にも耐申經費頗る低廉
御希望の方は端書にて御申越次第明細書御送付申上べく候
大阪西區立賣堀南通六丁目 岩儀商店瓦斯部
（電話西一五四〇 振替大阪一五七五四番）

高等受驗科 通信教授
▽英數理化▽國漢文等▽講義簡明▽受驗本意
◉見本規則申込次第進呈
東京麴町區飯田町四丁目 ◎高等受驗學會

善い種麹は能く賣れる!!
今野菌は善い種麹なり、故に今野菌は能く賣れる論理は神と同じ樣に正し
何故です……??
ナゼと問より使つて御覽
今野菌を使用する釀造家は大變繁昌している!!
純粹
醬油 味噌
種麹
大阪市西區 [illegible] 今野商店

仁川現物市場
▲…[illegible]…
▲朝鮮一等白米（當用）十二圓三十錢
▲同 十二圓四十錢

●亞鉛線高模樣 …[illegible]…

仁川米豆取引所

平均値段
一節 八圓[illegible]
二節 八圓五十一錢
三節 八圓五十一錢
四節 八圓五十二錢
五節 八圓五十三錢

寄附 八、五五
止め 八、五二
高値 八、五五
安値 八、五二

石井外相の歸朝

前駐佛大使石井菊次郎男が十二日午後、前任地巴里から合た入たま子、愛孃かよ子を伴はれて、神戸埠頭に上陸されました、出迎の人々は花の巴里で磨いた令孃の美しい姿の傍に微笑を湛えてる新外相の幸福を祝しました（大阪支局）

九日に清祓式を行つた、

當日は大總使事務官及謹釀の恩命を拜せる東京加島十兵衛氏以下杜氏參列して莊嚴なる式典を擧げた式後は一切の不淨を近けず杜氏の外出は勿論何人の出入も許さぬと、而して原料米は悠紀主基兩齋田より十七八日頃に納入せらるゝ筈で齋米は何れも撰みの一粒撰りのもので

謹釀は二十日から着手せ

らるのである萬端は勿論加島氏が指揮を爲すのだが杜氏頭川島清良同副頭楠竹龜吉外雜役六名が日々幾回となく齋戒沐浴し身に白丁を纏ひ足袋に新しき白鼻緒の淺裏を穿ち靜肅に從事する筈である五日間に釀こ齋米を調合し十五日間に造り込みを終るのであるが後の十五日中に四五日間は全く不眠不休の時がある、夜は灌燈の設備がなく與床しくも燈明の光りを滲び手廻りは小行燈を用ゐることになつて、造酒殿の諸器物は一切吉野杉の赤味を帶びたるものを用ゆる筈である愈々造込期に入ると

造酒殿で酒歌を唄ふさう

だが唄は目下大總使の式部職で草稿中ちやきうだ何れも節調も同時に指示せられるさうだ、そこで白酒は悠紀の齋米を用ゐさせ色澤は普通の酒よりも白い又黒酒は主基の齋米を用ゐさせ色澤は稍々黒味を帶びて何れも風味は變らない、黒酒に就て世上某を交ゑる如く傳へて居るが決して斯る混ぜ物はないのである、釀造方法は吾々の言ひする限りでない、僅々二十日間に釀造なし終るは餘程の苦心であると杜氏は語つて居る、而して上納する

雨酒は八斗宛

である、何れも吉野杉の赤味柾で新作した酒樽に容れ（一樽に約一斗宛）御所に四樽、二條離宮に十六樽を車輛に二輛完納めて其上を菊花御紋章ある錦の覆を被せ奉舁白丁の杜氏等に依りて上納するのであるが上納期は多分十一月九日であらう（石原記者）

大共進會

神輿渡御
京城神社大祭典 十六日から三日

始政五年を記念する大共進會の開期中然もその褒賞授與式の擧行される十七日を中の日にして十六、十七、十八日の三日間京城神社の秋季大祭は擧行される、十六日は即ち前夜祭で、十七日は神輿の龍山渡御十八日には神輿遷幸の事が執り行はれ、景氣立つてゐる京城市中は茲に炎え返へる樣な賑ひを呈するであらう、今その大祭の順序を聞くに十六日は南山の京城神社で嚴かなる前夜祭が擧行され、十七日には午前八時同じく神前祭があつて同十時神輿發幸、總督官邸前から日出小學校前に出で十時三十分同校の南側で休息の上大和町から新町に向ひ此所で休憩して本町通りを本町五丁目赤門通角等で駐輿、京城府廳前で正午の休憩がある、それから南大門通御成町から午後二時南大門停車場に出でこゝで駐輿、それから古市町元町一丁目元町二丁目榮町鐵道局前等で休息の上午後六時御旅所に御著の筈で十八日は御旅所で午前八時祭典執行同九時發幸漢江通を京町三角で休憩岡崎町南大門驛前太平町大漢門前鍾路一丁目明治町二丁目東拓前赤門前總督官邸前等に駐輿午後四時還御の豫定である

天勝一日日延

協贊會演藝館の天勝は十五日より演曲替の所餘興のサロメ劇意外に盛況につき一日日延べし十六日より羽衣ダンス喜劇を演ずる由

菊花陳列大會

京城協贊會にては來る二十三日頃京龍仁の各地に亘り菊花同好者を糾合し共進會場内に於て菊花陳列大會擧行の筈

水族館の餘興

仁川水族館内餘興場は九日以來大神宮祭典にて中止の處ありしが十三日夜より再び興行せり

白酒黒酒
酒唄朗かに謡し釀もし奉る

大嘗祭に上は神明に供へ 陛下躬から聞食し給ひ大饗に際し下臣民に賜るべき黒酒、白酒は洛北上加茂神社境内南苑の東側蟬の小川を距つた造酒殿に謹釀せらるゝのであるが造酒殿の域は古杉鬱蒼として神嚴の氣に滿ちたる御井の邊り東西三十間南北二十餘間の地で周圍は竹矢來を繞らし其の内は正面に御井あり其の左に造酒殿右に麴室等の設けあり八日を以て全部の工事を竣工したから

男か女か
天勝とお千代
石龍子の天眼鏡に映つた正體

『ホウ貴女の頭は横の直徑が五吋八分前後が七吋か……元來女の頭は男より一二吋小いものだが、全然貴女は男ぢや』と石氏がハイカラ髷の天勝の頭を見上げ見下すと『何うしても妾は男でござんすよ、先生』とサロメの天勝が美しい眼で笑ふ『ヴム、男だから世界を跨に活動するのだ』と老人も山羊髭を撫でる次に

石龍子老人が大きな天眼鏡を持

ち出して、天勝の手から顔から熟視し始めると天勝は女らしく俯向き加減になる『貴女の何處に奇術家といふところがあるかと眺めてる處だ』と老人が笑ふと天勝が又妖婉な嬌姿を作つて『種仕掛はございません』といつた笑ひ方をする『貴女は眼も眉毛も口も大きく又身も高い、これが女ながら大膽勇敢にやつて行く所以で又一生元氣よく働かれるところだ併し貴女は大閤さんのやうな生涯だから動かれる間にウンと働くがよい、壽命は長壽の方で七八十も生きるが身體が働かなくなると駄目だぞ又た顴の出たのは意地の強い表彰で眉毛が婦人として稍々粗いのは大膽を表現してゐる、金は隨分儲かる方だが右から這入れば左へ拔けるところがあるな、殊に貴女はひねくれて

三角に出ると當方は四角に押出

すと言つた風で頗る意地強いところがある代りに又泣き付かれると義侠心を出して損をしたり莫迦を見る性質だ、額は實によい、此の額では誰でも讃めこむな、又生え際の隠の模擬性が發達してゐるのは役者として頗る結構、私はまだ貴女の藝を見たとはないが貴女の性格なら元氣に活潑で且つしなやかな人物に扮するが適任だらう、ハ、ア、サロメか、否、サロメはよからう、又此の人の頭には男性と女性とやさしさと意地強さの兩極端が相爭うてゐる、まあ女だから好いが男だと傲慢な人物になるな、又此の高い鼻と頬骨とは自尊心の強い表彰で、額は又華美に世間を渡る額だが少し調和性が足りぬやうだから他人の言ひ盡にはならぬ性質だ、笑ふ時唇の端が半月形に上に吊るのは樂天家の證據で

鼻の小皺は小供の無い表徴だ

う言はれると天勝は『一人もありません』と懲いたやうに云ふ『何うも貴女は男だから仕方が無い』と石老人が笑ふ『貴女は又耳が美しいこれはまだ多くの家があるる證據だが、その口の角に一寸出る皺に不可ん、其れが子供の時出ると親喰ひの子になるが二十七八過ぎてからは構はぬ……否孝行者だと解注るが、ハ、左右であらう、貴女の頭の高いのは孝行者の表徴だ、不孝者は頭の上が平たいものだからなハ、ハ、ハ、、』その石龍子老人の前に何とも言はず千代本が勝の寫眞をソッと見せて鑑定を求めると老人天眼鏡おつとつてフ、ムと言ひながら日く『この人は男らしい女か女らしい男ぢやなう、此の眉の垂れたところが左樣見える、又寫眞の顔は小判形で大變よい型だが實物はモ少し下ふくれでは無いか、又顔に骨が見えず而して

生際の立派なところは實に婦人

の好模型だが其の間何うも何となく性の頑丈さが現はれる、又眉毛も睫毛も稍々厚く鼻口共にしつかりと締つたところは何うしても父親の遺傳を多く享けたといふ顔立だ、そこで柔順な女らしい間に強硬な意地元氣がありくと現はれそこに活動力が籠つてゐる、即ちこれあるが爲めに朝鮮にまで來て働く事の能きる所以であらう、又此の身體ならどれだけ使つても精力が衰へず充分仕事を切り廻して行くことも能きるが餘り精力が勝ち過ぎては或は夫を有つことが下手になる女だ、先づ女主人として思ふまゝに切り廻すといつたやうな仕事が良からう、又看板より賑やかに面白く渡世するとも能きるが一つ間違ふとまづ尼寺の大尼和尚となる女かなあ……』

『あんたの鼻の小皺は……』（石龍子天勝に對す）（中村千代）

汽船濟州島沿岸に坐礁す

昨夜東京市山下汽船合名會社汽船鳳凰丸（二千三百四噸）木材を積み上海に向ふ途中濟州島外月里沿岸にて坐礁せり（木浦來電）

家庭博覽會

奇拔な景品が現はれて來た
十四日午前の當選者二十名

十三日から始まつた家庭博の福引的景品は素晴らしい人氣を呼んだもので第二日の十四日は一天拭うた如うな秋晴れの清々しい上天氣であつた爲め早朝から引きも切らない大賑ひ從つて當選者も多く朝から午後の二時迄に二十錢入と云ふ當選者を出して景品引換所は一方ならぬ混雜、其他等外品の内には木炭やら蓄音機やら味噌やら色々なものがある、味噌一樽を當つた人が三人あつたが其内に平壤から來た人があり之れは大した土産が出來たと喜んで居た朝鮮ホテルに宿泊中の英人ヤング氏は三等の二圓が當つたので之は面白いと其内から又四五枚の入場券を買つて籤を抽いたが今度は當らない『慾があつては駄目ありますね』と愛嬌を溢して居た、今日は米何俵、酒一挺とか云ふ寄贈品の申込みあり又花月からは藝妓券二十枚を寄贈して來た、藝妓祭など時に取つての御愛嬌で面白からう景品は晝でも夜でも進呈します

家庭博景品當選者
十三日午後八時より 十四日午後二時まで

▲一等（四圓）西小門外杉田ゆき▲漢江通り山崎信次郎▲二等（三圓）花園町林末喜▲黄金町士村守雄▲慶雲洞金健中▲三等（二圓）仁川城本定吉▲中學洞金溫淑▲黄金町林なみ▲旭町市原敏▲明治町井上とのえ▲高陽郡沈明元△江華郡石橋いま△鳥致院山本惣次郎△朝鮮ホテルヤング△麗州郡黄在泉△黄金町金斗信▲四等（一圓）和泉町宋泰煥△北米倉町坂きぬ△熊本市田村健次△仁川熊丸義生△同上富松之助△本町柴山かね△漢江通り新村一雄△善山郡林相源△若草町永齋藤とら△永樂町藤井みちえ▲仁川近藤たか▲等外味噌一樽△平壤金村聚▲本町清光館内山薬他三郎△高陽郡逍乘善

浪花館の無料券

明治町の浪花館出演中の東京落語大一座桂小南、橘家圓坊、三遊亭若橘、歌六等の一行は家庭博の成功を祝する爲め十五日より二十三日まで九日間家庭博入場者の内地人に限り無料入場券を進呈する事となつた、同座の入場料は一等四十錢二等三十錢三等二十錢なる

十五日から廿三日まで家庭博入場者に進呈

も家庭博入場者は此入場料を要せず唯だ五錢の下足料を出すのみで東京落語の面白い所を聽ける譯、十五日からは夕景少し早く家庭博を觀て其歸りに浪花館に出掛けることにせられたら至極便利であらう

老婆の電車飛降り

京城黄金町二丁目宇梶よし（五三）といふ婆さん十二日午後五時半頃六十一號の電車が黄金町通りを進行中飛降りをなして大地に打倒れ頭部を打ち一時人事不省に陥りたるを早速永樂町村上病院に擔ぎ込みて應急手當を加へしが餘病併發せざれば多分生命に別條なかるべしと

特別寫眞

有樂館は明十五日より左の大寫眞を上場する光榮を有す

深草物語 石井源八郎

深草物語は都新聞に連載され萬都の大好評を得た竹の島人の名作日活秘藏の大フヰルム

明日上場

藝妓に賞品授與

朝鮮公論社にては過般擧行せし藝妓投票入選者百名に對し十五日午前十時より有樂館に於て賞品の授與をなす由當日は京城酒屋及び大料亭の女將等多數も來賓として出席すべしと

商況

日本郵船 東株新 東株第二 東新第二 鐘紡新 …

債券現物特電（東京 十四日出來値段（前日との比較））

大阪期米特電（十四日前場）

天氣 ▲十月十五日 西の風晴

本家 大阪高津表門筋 七ふくや 伊藤長兵衛
七ふく ひえ藥
本劑は逆上を引下げ胸の痞を開き大小便の通じを快くし疝氣・寒冷（俗にひゑ、しつ、かさ）諸毒其他皮膚一切の諸病即效本劑定
藥價 中過分七ふく入 金拾五錢 / 一週分十四ふく入 金貳拾四錢 / 三週分四十二ふく入 金六拾五錢 / 五週分七十ふく入 金壹圓

院長 岡山醫學士 村上德一
内科 小兒科 婦人科
京城醫院
京城本町二丁目（電話七四二番）

家庭内職生大募集急告
金儲之覇王 京城黄金町四丁目（電話二六五二番） 日之出護謨商會
▲弊會發案の大正式タイヤ修繕機械は從來内地等に在る所の形式機械と全く異り大改良天下無双の最新式機械で就業者は勿論家庭用に最適當志望者は來店又は郵券四錢送れ就業案内書送呈今回百名限り左の大景品付販賣す
大正式 自轉車各タイヤ復舊修繕機械大賣出
▲弊會は朝鮮に於る新案美術ゴム品製造界の元祖本業は土地並近老幼男女山間僻地を問はず自宅で出來賃本十圓内外月收廿圓以上其製品弊會引受永遠取引年中無休海外輸出前途有望の好職業志望者は來店又は郵券十錢送れ製品見本就業案内書送呈本非諸氏新義州特約店三友社へ
自轉車景品付大賣出急告
弊商會發賣の自轉車 日之出號インパイヤ號タイム號バード號堅牢無比天下一品而も價格低價此際開業披露の爲め左の大景品付大賣出す
景品一等自轉車貳臺、二等修繕機五臺、三等タイヤ五組、四等ベル十個、五等ゴム糊百個空籤無し

婦人科 産科 入院分娩隨意
京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂
中央婦人病院
電話二三四〇番

かねやす・わた 吳服店 京城黄金町二丁目
丸一綿部 電話二三三一番 振替三六五
毛布 薄利多賣

防水布雨着
●自轉車乘用乘馬用マント ●鑛山用漁業用荷車用雨具 ●紳士用オーバ形鳶形雨衣（御申越次第新見本送呈）
東京市京橋區南槇町九番地 電話京橋三七九三 振替東京八〇四五
ゴム引防水布問屋 福田豐三郎商店

大日本優等清酒 ハクツル
品質純良 衛生無害

攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社
京城本町四丁目十四番戸 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

小兒科專門 内科
京城旭町三丁目（元十全病院跡）
若槻醫院 電話二四六二番
ドクトル メヂチーネ 若槻寛隆

農相の車中談

雪白の美髯を扱きつゝ大に語る

河野農相一行は十三日午後八時三十分釜山發連絡船新羅丸にて歸東の途に就きたるが同日午後四時十分大邱驛に農相を出迎ふ特別室の中には岡本山林局長、渡邊地方局長、川田畜產課長總督府の人見農務課長、不破度支部事務官、服部慶北警務部長等が農相を中央にズラリと居流れて居る農相は快よく記者を引見して『マア掛け給へ』と御自分のソフアーを分けて與れた『共進會並に朝鮮御視察の御感想』を承りたいと云ふと

▲雪白の美髯をグッと扱きながら『サア感は有るが想はまだ浮ばないよ、それよりも一つ君の方から妓生論でも聽き度いものだナ』と笑ひながら先月二十九日釜山へ上陸してから恰度十五日になる兎に角時間詰めの旅行なのでモ少し見て行き度いと思つて居てもモウ時間が無い行かう〳〵とせツ立てられるので非常に心忙しいわけで夜分なども人が來て話すとか又は晝に觀た處を思ひ浮べて考へて見るとかするので聊か睡眠不足を感じて居る位のものだハツハツハ

共進會は大成功であつた內地からあれ丈の人を引付けて始政五年の

▲經過發展の跡 を現示し且つ朝鮮內地の實地を內地人に見せる機會となつたので從來は朝鮮と云ふ處は甚ぞく荒涼な野原の樣に想像して居つた內地の人達が何れもその進化發展を目擊して一驚を喫した事であらうし資本家なども實地に來て見て之れならばと安心して投資すると云ふ向なども決して尠くはあるまいと思ふ

▲朝鮮の統治 と云ふ事に就ては併合當時私共も大分心配して見た事が有つた何にしても習慣なども異つて古い歷史を持ち曲りなりにも獨立して來た國民であるから其の方針を誤つたが最後隨分面倒な事が起つて來る所である然るに現在の朝鮮を統治と云ふ方面から見ると誠に快よく整頓して居り僻遠の地方にまでよく政治の趣旨が下民に徹底して居るこの統治策を得た結果が即ち併合以來左したる社會的變動なく延いて產業の發達を促しよく今日の成効を贏ち得たのである

▲併合以來今日 迄の朝鮮統治は順調と云ふのでなく實に見事の手際であると賞讃を表せなくてはならない土地產業と云ふ方面から見ても到る處山は青々と木が繁茂して來るし棉は美しく實つた鮮人は一變して立派な米を收穫して居る從來石交りの米ばかり收穫して居つた鮮人は一變して立派な米を收入れそれが昔から夢にも知られぬ程の高値に賣れると云ふ風である。或る一部の人達は朝鮮は

▲日本の植民地 と云ひながら其植民の數は甚だ少ないと云ふので其植民政策の誤つて居る事を喚する者があるが、其議論はまだ早いといはなければならぬ移民の獎勵は之れからである。山に木もなく野に桑穀なくては何處へ移民が出來るものか、農業なり工業なり商業なり內地から一々材料を取寄せて居つた日には其の進步は遲々として甚だ困難であるが此等の原料が其の地方で得られるものとすれば期せずして事業は勃興し發達して來る、現に朝鮮に於ては米棉等は前に述べた通り近來發達が非常に發達して來たこれも生產費の少ないと云ふ點から將來

▲內地の蠶業な どよりもモツと有望なものに爲るであらう一體に內地の蠶業は氣候の關係から支那伊太利等に比して非常に生產費を要して居るが此の點から見ると朝鮮の蠶業は天候、土質、家屋建築の簡易と云ふ上から世界第一に低廉なる生產費で佳良なる繭を獲る事が能きるので從つて將來收繭が多くなれば之れに伴つて製糸業や其他の副業が起つて來る內地人も招かずして集つて來ると云ふ事になる

汽車に話して居る內に慶山驛を過ぎ淸道驛を過ぐ沿道の官民學校生徒が驛のプラツトホームに整列迎送する農相は後側の展望臺に立つて一々挨拶を爲し殊に普通學校の職員等から一々狀況を聽き取つて汽車が動き出すと又談話を續けらる

▲子弟の教育 と云ふ事に就ては總督府でも大いに心を用ひて居る然り他の國家を併せ其の國民を無智にして置く譯には行かぬから之れは何處までも教育しなければならぬ英國は印度の民族の教育に就て手を燒いて居るが要するに過激性を誘發する樣な教育の仕方でなければ

▲教育は充分に する方が好からう要するに統治は國家の實力である日本は全力を擧げても朝鮮の治平を保つて行かなければならないのだと談は滿蒙問題に入り稍々昂奮して來た農相は前日來風邪に冒されて居るとかでボーイの進める白湯でアンチピリン錠を服用しだ細川密陽を過ぐる頃夕陽暉々として洛東江の波に燃え群山の翠色殊に深くなつた農相は指して見たまへ獨逸人が青島を占有して立派な植林を行つたと云ふが青島ほどの狹い處なら兎に角いく獨逸人でも茫々たる此の朝鮮の禿山へは五年や七年ではとても此れだけの植林は出來まいよと心持よく微笑した(釜山支局)

●全北 獻穀修祓式

全北福穗村川崎農場に於ける御大禮獻穀齋田は豫定の如く九月二十五日御稻刈、廿六日御穗日乾同日事務所內特設御穗架に移し十月三日迄一週日の室內乾燥を爲し四日架より下し稻扱を了し翌五日籾の室內乾燥を行ひ六日御籾摺を爲し七日精白米に仕上げたるが十二日午後一時より齋田に於て崇嚴なる修祓式を擧行したり全北道廳よりは李道長官立花技師以下道書記數名益山郡守沃溝郡守以下郡書記數名其他民間有力者數十名祭主川崎藤太郎氏神官三名參列し定刻に至るや一、祓主以下職員祓所の座に著く二、耕作人及び參者著座三、獻饌四、降神の詞五、祓詞六、玉串を獻ず七、大祓行事八、鹽湯行事九、昇神十、供御新穀を撤す十一、撤饌十二、諸員退出等の順序により式ありて無事式を終り川崎氏邸內瑞穗神社の祭典を執行し次で參列者を招じ立食の饗宴を開き席上川崎藤太郎氏の挨拶李道長官の祝辭あり宴酣なるの時川崎氏の萬歲を三唱し散會したるは午後五時なりし因に獻穀米は獻穀者川崎氏道技師立花氏沃溝郡書記岡上氏等之を守護し翌十三日京城に向け出發し總督府當局に引繼を爲すべしと

社告

鐵道大競走(甲乙)兩懸賞品全部、即ち甲懸賞一等二十圓以下五等まで四十一名及び乙懸賞五百人に對し今明日中に夫れ〳〵發送致候間左樣御諒承相成度候也

十月十四日 京城日報社

●全南棉花狀況

前月上旬より氣温低下し一時は本年の作柄を氣遣ひ居りしも月末より本月初旬に入り晴天續きの爲め大に持直し棉花開絮意外に良好の狀況にて殊に元棉產地の米國に於ける減作霜害其他戰爭に因る需要季節前途益々騰貴の理由のみなれば相場も高氣配を構ひ居ることゝて初荷以來出廻多量にして來る二十日頃より當地三棉業會社共操綿工場を開始すべしと

●前月爲替取組高

群山朝鮮銀行出張所に於ける客月中取扱たる爲替取組高は左の如くなりと

▲送金爲替 仕向先鮮內九十六口十八萬四千六百六十圓六十一錢仕向先日本內地四十口五萬六千二百九十五圓零九錢仕向先支那其他四口四百十五圓▲代金取立 仕向先鮮內五百四十四口八萬八千百八十六圓九十五錢仕向先日本內地百四十二口二十一萬八千二百六十四圓七十九錢仕向先支那其他一口二千九百八十五圓等也▲逆送金爲替 被仕向鮮內五十三口十萬五千三百五十六圓四十八錢被仕向日本內地十七口十二萬零七十圓四十四錢▲代金取立 被仕向鮮內百七十口十二萬八千九百八十八圓零五錢被仕向日本內地四百十七口七萬零五百八十七圓四十五錢被仕向支那其他四口千七百九十七圓六十錢等也

●木浦府水道狀況

木浦水道擴張工事(總工費二十三萬圓)は豫定の如く工事進捗し貯水池及び濾過池は既に竣工し配水池は目下施工中送水管線路工事中難工事なる海面干潟地鐵管埋設も既に八分方進捗し設計豫定期限より幾分早く來年二月迄には全部竣工を告ぐるに至らん

●木浦棧橋工事

當港棧橋築造工事も著手以來豫定の通り進行し目下杭打作業中なり

●連絡船上陸客

十三日午前入港新羅丸一二等乘客(一等十七名)岡本清、渡邊信誠、松岡平、四郎菊之助、淺井卯吉、手輪田、杉本弘臣、崎野吉一、田沼久吉、渡邊文七、今西林三郎、川上齊夫、林米吉、寶田岩次郎、外八名(二等卅三名)西尾雅男、大野丑、牧野貫四郎、河合芳雄、古島勝助、松本誠直、木原純一、石川大藏、戸井德七、森山采市、森田定夫、小島宗次郎、須藤爾作、內田鋼一、片倉敏太郎、同佐一、同耕一、渡邊嘉右衛門、金川豐、波多野善一、阿部巳三郎、鮎木菊藏、玉田鋼伴太、白阪榮彥、瀬戸武四郎、福井好七、松森正重、服部金太郎、同まさ、同壽臣、同まつ、田中新右衛門(三等百七十五名)

十三日午後入港壹岐丸一二等客(一等十名)八木久兵衛、鈴木重雄、牧野元良、阪本寧、中瀬三七郎、木內重四郎、山中定次郎、中野二郎、外八名(二等二十九名)柴田千賀惠、小原辰三郎、卷三藏、同のぶ、矢橋篤太郎、清水政七、坪內彌藏、桐尾一、內藤修哉、服井梅子、同規之、山田一雄、同初子、森于二郎、矢島露吉、同君子、同松子、倉小茂助、田中水穗、同榮子、中川寧熊、伊田四郎、長谷川榮一郎、角田晴三郎、林田勝治(三等六十一名)

便印刷器の覇王 堀井謄寫版 販賣元 京城南大門通二丁目 謄寫堂京城出張所 特約店 京城 朝平支店

演藝案內

壽町 壽座 電話五七八 大阪若手俳優市川眼笑市川新升一座 假名手本忠臣藏 通し ▲七日目改題

黄金町四丁目 電話二六三七 黄金館 龍山停車場前 電話(龍山)四一番 龍光館 大好評連日滿員!! ▲十九日迄引續き毎夕六時開場 サロメ劇 魔術 天勝一座 ▲サロメ劇は十四日限り見逃す勿れ 共進會場內 京城協贊會 演藝館

明治町 電話二六〇番 浪花館 特別大興行 東京落語大一座桂小南一行來る

初日滿員御禮 天覽赤穗誠忠錄に基き增補大改訂を加へたる 實錄忠臣藏 全通し 全十二卷勿態映寫時間たつた五時間 午後五時より 切符發賣仕候 大正館

新築落成 本町 電話二六六 有樂館

鍾路 電話二一九一 御成座 第三十二回替藝題

櫻井町 電話八七三番 大正館 十月十三日より臨時特別大興行

壽町 電話一〇五〇 壽館

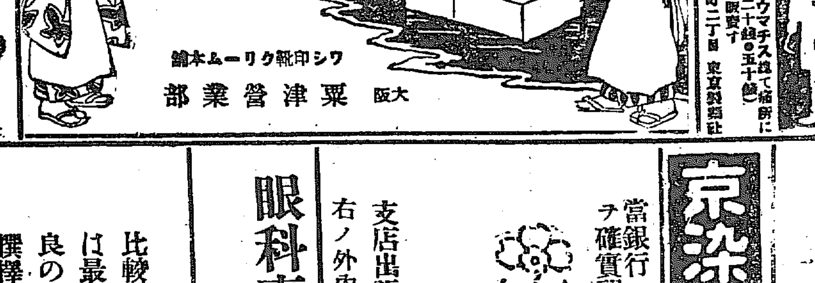
京城學校組合告示第三十一號 一ストーブ用烟筒參千四百八拾六個 此入札保證金ハ當學校組合ニ納ムル者ニ限ル 右供給請負望ノ者ハ當學校組合ニ就キ入札心得書契約書案仕樣書等熟覽ノ上來ル十六日午前十一時限リ當學校組合ハ京城府尹金谷充之ヲ擔任ス 大正四年十月十三日 京城學校組合

共進會紀念即賣會 書畫、骨董、ヒスイ、高麗燒 貴顯紳士諸彥の御土產に適當品澤山 本町二裏通(電話七八四番) 京城株式會社 正札附陳列 縱覽無料 自午前八時至午後六時

惡疫豫防と 柏村博士のヘルプ ▲腸胃の健全なる人が惡疫に傳染せざるは醫理の證する所なり ▲故に此際何人も腸胃の健全を主効とするヘルプを服用せよ 定價 十錢 廿錢 卅錢 五十錢 一圓 主治効能 本舖 東京市日本橋區本銀町 津村敬天堂

會席御料理 共進會開催中は特に御晝食其他御好次第御手輕に調理可仕候 水族館を東へ一ツ目角 醉月 杉浦あさ 電話一三九番

優等清酒 一鶴 京城本町三丁目電話六五四番 本莊酒店



シワ印紙クリーム本舗 大阪 粟津營業部

西洋アンマ膏 カタノコリ、神經痛、リウマチス等で痛所に妙効あり(五錢、十錢、二十錢、五十錢) 全國到る處の藥店にて販賣す 東京市日本橋區新崎町二丁目 東京製藥社

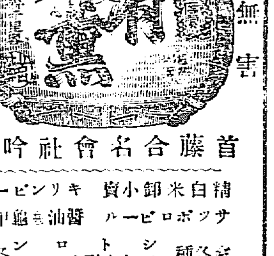
名物 鯛そぼろ 折詰辨當 共進會開期中大勉强 會席御料理 仁川水族館正門前 松の家 團隊多數の注文續々有之候に付可成前以て御申込被下度候 (電話六二九番)

太田胃散 飲過ぎ食過ぎに妙なり 定價十錢廿錢五十錢一圓 本舖 東京吳服町 太田信義藥房 全國到る處の藥店に販賣す

鑛山用 水銀 新荷著 保税品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五番二七七四番

大擴張 共進會觀覽者には特に御便宜叮寧に取扱申候 京城南大門驛前 武藏旅館 電話二三六四番

酒精アルコール 手印最上等品及◇印爪哇產格安品各種新荷著取揃居候間御照會次第特別勉强直段御通知可申候 酒精直輸入一手發賣元 仁川京町(振替口座京城六八番) 鬼頭兼次郎商店

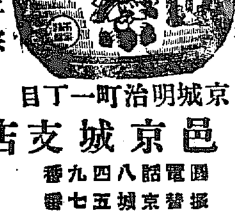
無双醇良清酒 衛生無害 品質無双

首藤合名會社吟醸造 精白米卸小賣 キリンビール サッポロビール 醬油龜甲萬 シトロン 三矢 布引 サイダー 各種 朝鮮發賣元 首藤京城支店 黄金町(電話一七一番)

酒井婦人病院 京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 隨意 電話二六〇番

京染 取次 西陣織物 白生地 販賣

朝鮮銀行 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城 電話 振替貯金口座 支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春 右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

眼科專門 京城本町六丁目(元軍司令部通り) 金井眼科醫院 電話一五五六番 院長 金井豊七

比較は最良の撰擇法なり サクラ正宗 サクラ正宗

山邑京城支店 京城明治町一丁目 電話八四九番 振替京城五七番

內科 小兒科 入院隨意 中島醫院 京城明治町(元善隣學校隣) 電話三七八番 院長 中島貞信

公債直取引(東京特電) 大阪株式特電 大阪三品特電 各地商況

越後大評定

第十三席 早川貞水口演

訪づる者は誰ぞ

青山源之丞喜んで御受を致し、御前を退ると、髪を取上げ入湯いたし、匂ひのする物を身に著け、衣髭を彼是と選んで、整然支度は出來る、時刻を計つて三の間の長局へ來る『是は寂然い、最もお愛殿が猫を退治たのであるか依然さむしい、誰様も此室には御住居がないと見える……アあの聲はお愛殿、本を讀んで御居でだ』と部屋の外へたち、聴いて居ると、頻に論語を讀んで居る『ハア傑い……御頼み申す……御頼み申す』愛『ハイ、誰人で御坐る』源『御表御小性青山源之丞で御坐る』愛『ア左樣で御坐るか』源『お愛殿、御主君の御用で御坐るから、此錠を御開け下さい』愛『御主君の御用と雖も、女一人の此部屋なれば、明日御入來下さるやう』源『イヤ左樣で御坐るか、急の御用で御座ろ、ちよつと御開け下さい』愛『急の御用にても、妾一人の此部屋……』源『左樣仰しやらぬで急の御用で御坐る御開け下さい、お愛殿主君の御用命を被りたる者、御拒みあつては御奉公を等閑にするの虞あり、青山源之丞、主君の急御用を被つて罷越したり御開け下さい、仔細は御坐らぬ』愛『左樣なれば只今御開け申す』源『併し御開け下されても、乃公は既に其御心算で』愛『疾より承知いたし居ります、二の番の通ふ所は、狸など賢の青山源之丞、狸で御坐らぬから左樣とは思ひ申さぬ』源『ア左樣で御坐るか、それで安心いたした、然らば御早く御開け下さい』愛『只今』と締りを取つて入れる『御免下され』と入るお愛は以前の見臺の前に坐り、威儀を正し 愛『何御用で御坐る』源『アヽ流石お愛殿、夜中と雖も論語の御勉學成心仕つる』愛『是は／＼恐れ入りました聯かながら、嗜みと存じまして』源『ハア、どうも何事に付けても恐れ入つたる貴女の御心掛、お愛殿、是は先刻御主君から頂戴いたした御菓子御土産で御坐る』愛『是は／＼、折角御戴き遊ばしたものを、妾に下さると云ふ、其御深切辱く存ずる』源『時にお愛殿、御主君の御用とは詐り、甚だ失禮で御坐るが、實は乃公御貴殿を主に迎へたいと、兩三年前から心に掛けて居りましたが、何とも御話する暇もなく、戀念に思ひ居りました所、今宵上々の首尾を得り、罷り出でたることで御坐る、何と身共の妻に御嫁り下さらぬか』愛『ハア、それは思召辱いが、さう云ふ貴下の思召ならば、貴下の父上に御話あり妾の父猪貝に御話下され、御貰ひ下されては如何で御坐る』源『イヤそれで御坐るが、エー親共からの御話は二の次、本人同士、手ツ取り早く貴女へ御話致し、御承知を得たる上親共へ御話するも、遅きことは御坐らぬ』愛『是は怪からぬ、左樣な不埒が御主君へ知れたる時は、不義と相成ります、不義は御家の禁制』源『イヤ、其事は御主君の御承知なんで御坐る』愛『ヘイツ』源『イヤ此方の事で御坐るが、希らか此方が折角參りしこと故、お愛殿、その樣に何にも其方へ御向き遊ばさぬでも、宜しいでは御坐らぬか、青山源之丞で御坐る、貴女とは小さい時からの御友達、なんとお愛殿、色よき御返詞を伺ひたいと、手を延し、腕力的で心に從はせようとするを、ハツと其手を拂ひ 愛『怪しからぬ、何事をなさる、女一人で此部屋に退つて居るのに、夜中入の許しもなく、御主君の御用などと詐り入り來り、妾を捉へ無體の戀慕、穢はしい』源『是はしたり穢はしいとは何事で御坐る、左樣仰しやらぬで、此方の心に從ひ下さい』

本場 あかぬ銘仙 新荷着 京城本町二 ちとぶや 電話八九〇番 振替三〇二番

十月十六日九星
舊九月八日 庚辰
本命八白 長破佛滅
[illegible]

▲美味なる▼ 虫下し最良藥 定價五錢●十錢●廿錢●五十錢

岩崎大海堂セメン藥
主治効能 蛔虫諸症、疳の虫、蟲熱、夜なきの虫、乳あまし、虫腹いたみ、疳熱の虫、虫胸あしく、勞熱の虫、虫せき、驚風の虫
近來粗悪なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ ▲廿錢のは卅二個分入りで一般入で能よく御用に便利です

子宮病血の道と神痾湯 ヒステリーに一つも悩む人は

彼れ是こ迷ふ無く 早く確かに効く醫藥神痾湯を試みよ 現に百方手を盡しても効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリーや、數年難治の子宮病の方々が神痾湯の連服で漸次快癒し嬉しさの餘り懇篤な感謝狀（現在保存す一般の閲覧に供す）を送らるゝ實例も數多くから若し不幸にも是等の病に悩む人あらば症と難症の論なく即ち試みよ 神痾湯は家傳の秘方藥なるも今や全國各藥店にあり

こんな徴候 [illegible]
本舗 名古屋市武平町二丁目 荒川長太郎

花王石鹸の告白

花王石鹸の品質が高價なる舶來石鹸に比して毫も遜色が無いとは豫て帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院等に於て嚴密なる實驗に依り採用せらるゝ事實に見て明瞭などですが其の價格が舶來品のタッタ十分一位に止まるといふ譯は、左の五に基因するものです。

一、香料は内國產を用ひ裝飾に贅費を掛ぬこと
一、我が國一般の生產費が外國より廉いこと
一、特に舶來品に比し關税及び運賃を要せぬこと
一、產額が多い爲原料を一時に多く仕入れるので原價が廉くなること
一、副業として石鹸の廢液より多量のグリセリンを採取して販賣する爲め從つて石鹸の價格を輕減し得ること
尤もグリセリンは我が軍隊用にも供せらるゝ貴重品なるが產額少量なる工場に於ては此副業は經濟上不可能のとです

右の理由に依つて廉價の良品となり產額が增大すればする程生產費に餘裕を生じ、原料の精選と品質の改善に努力して逐次循環的の進歩を見るのですから花王石鹸の御使用は畢竟需用者の利益なることを御承知の上、多々益々御愛用あらんことを懇望致します。

花王石鹸製造元 東京馬喰町 長瀬商會 電話浪花三番、六番、三〇一番

仁川期米 大阪前
▲十四日前場 [illegible]
▲依然動かず [illegible]
▲正米と期米 [illegible]
▲期米稍割安の感 [illegible]
京城正米 [illegible]
南大門市場 [illegible]
十五日の十一月限 [illegible]

京城日報
年中無休刊
（第二千九百十二號）
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 太平通一丁目 山口政太郎
發行所 合資會社 京城日報社

桂公と帝國主義

徳富猪一郎

—東洋協會講演會講演腹稿—

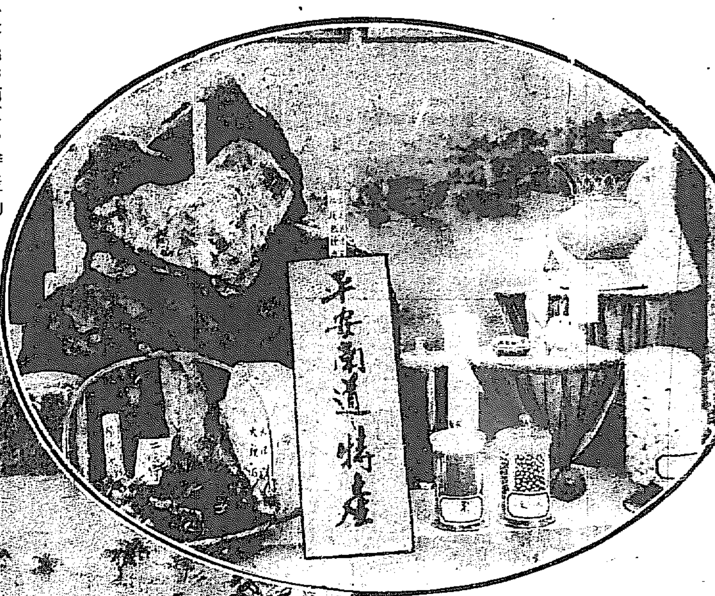
四、穩健平和なる帝國主義

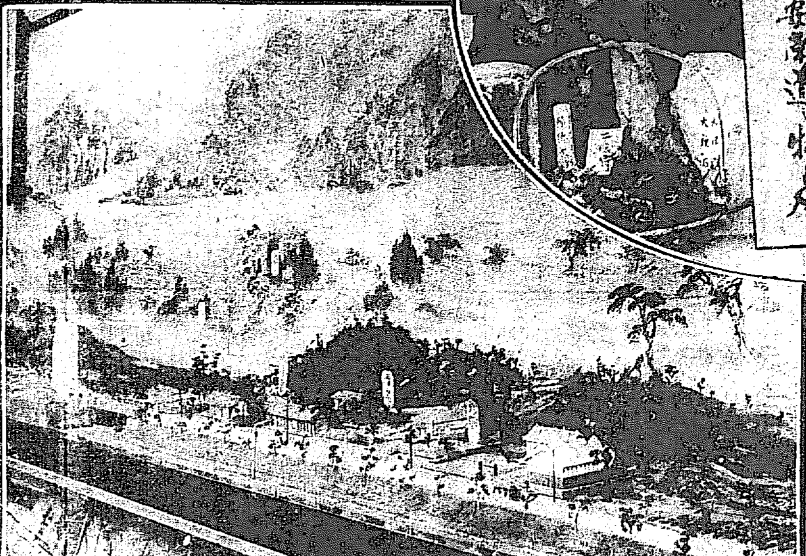
扨て、桂公は武人出身に不似合に、最も穩健平和なる帝國主義者であつた。朝鮮併合に就ては、伊藤公山縣公等、その方面は異なるが、各自の立場に於て其動功ありしは、言ふまでもないけれども、當時の當局者としては、桂公と寺内伯を擧げねばなるまい。現に、當地に朝鮮總督として留任せらるゝ寺内伯のことを彼此言ふのは、餘りに露骨であるから、是を他日の話に譲り、只逝ける桂公のみに就いて語るが、桂公は同化作用など、いつと特別の作爲を用うるまでも無く、當初より一視同仁の主義であつた。寺内伯も同樣である。桂公は實を先にして、名を後にしたのである。東洋拓殖會社の設立の如き、幾多の困難を排して、遂に出來たるものであつて、之も桂公の方寸より出たのである。その支那に對する政策の如きも同樣であつて名よりも實、風袋よりも正味、といふ主義であつた。朝鮮併合の如きは名實共に得可き、よき潮合を見て、桂公、寺内伯の努力によつて、出で來つたものである。もとより先帝陛下の御明斷によらざれば出來ぬことであるが、彼等の翼贊の功も亦忘れてはならぬ。如何に桂公が朝鮮の事に意を用ゐられて居たかといふことは、余が屡々公から直接に聞いた話によつても之を證明することが出來る。寺内伯が總督として朝鮮に於て併合の目的を遂せられたる當時、余は其實況を見て歸て之を桂公に語つたるに、公は滿面愉快の色を湛へ、誠に寺内もよく行つて呉れた。若し萬一寺内が内地に歸らねばならぬ時があつたらば、其後任は誰彼と言はず、余が先づ行く可きである、と。此話は一度ならず、他の機會に於てまた余が桂公より直接聞いたところである。斯かる次第であれば、公が大陸政策に如何に重きを置かれたかといふことは分かるのである。しかし公は決して冒險なる帝國主義者では無かつた。二十七八年の役、遼島半島割讓の問題に就いて、公は最初より反對の意見を持て居たのである、夫れは兎ても、日本の當時の力では、露國に對抗して遼島半島を守り得ることは出來ない。それよりも、南方に發展し臺灣を取つて根據と爲すに如くはなしと考へたのである。ところが滿洲に最も苦戰をしたのは公である。公は實に海城の籠城を爲し、數倍の支那兵を以て宋慶等の重圍を受け、寡兵を以て戰鬪したのである。斯く苦戰を爲し、折角我がものとなせる遼東半島の割讓に異議を唱へたのを見れば、公は冒險よりも寧ろ引込思案の方に偏したといふて宜い。しかるに此公が、卅六年日露談判に際し、露國が大同江を界として日露勢力の範圍を定めようといふ意見に反對し、鴨綠江以内より露國の力を驅逐せねば已まぬと決心し、之が爲めには戰を辭せずとの腑を固めたるを見れば公の帝國主義が如何に穩健にして實際的なりしかを證明することが出來る。其後、或は公が米國に向つて移民を制限し、日本移民の滿鮮集中政策を採りたる如き、不幸にして其の效果を見ずして逝きたるも、事實は著々實行せられて行くではないか。今日、鮮人が滿洲に向つて赴き、内地人が朝鮮に向つて赴くを見れば、移民滿鮮集中の意見が行はれつゝあるものと見て差支無いではないか。これを見ても、桂公の帝國主義は、日本固有の人道綏撫的帝國主義だといふことがわかるのである。寺内伯の如きも、其手段に於ては、多少の異同はあるかも知れぬが、其五年間の施政の大方針は矢張り人道綏撫的帝國主義にて、一貫して居るのである。尚申上げ度いことは此に止まらぬが、今日は時間もないことであるから、姑く茲に止めて置く。

共進會 出品概觀（廿三）

審勢館（平北）

中央に鑛山分布の模型を裝置し管内に於ける鑛山の所在地並に生産高を示せり、今一年間に於ける本道の産額を見るに實に四百三十一万餘圓を算し鮮内鑛産總額の過半を産出す、之を各種類別に示せば金産額四百三十二萬六千九百圓、銀産額二萬五千六百二十四圓、銅産額千四百七十七圓、黑鉛鑛二萬七千二百四十九圓にして其他の鑛物七千六百四十四圓にして斯業の奬勵に努力せしめつゝあり鑛山模型の右側には地理模型を裝置して管内一般の狀況を示し併て安東地方及び滿洲との交通並に貿易の狀況を表示し觀覽者をして對岸支那領に於ける移住民發展を窺ふに便せり又た壁面の中央には管内に於ける生産物の總括統計圖表を揭げ其の左右に土木、工産、畜産、林産、農産、水産、蠶業、經濟、教育等の部分的圖表を吊し其の下には各種成績品等を配列して進歩の狀況を一目瞭然たらしむ、蠶業に在りては在來種其び改良種を陳列し品質良否の狀況を示すと同時に一面模擬山の高低によりて産額増加の有樣を示し、始政當時二千十六石なりしもの大正三年に於ては六千六百四十五石に躍進し本道二大特産物の一なる柞蠶の如きは本陳列中最も重きを爲し其の蠶兒の發育狀況より加工成績品に至る迄、網大羅さず之を展示して進歩改善の狀況を背せしむ、今其の産額を見るに始政當時收獲二百六十萬餘個に過ぎざりしもの今や四千三百五十三萬餘個の多きに達せり農業に在りては其の改良發達を助長する爲各郡に傳習所、講話會等を開催し是等修了者には種苗の無償配付、改良農具の給付又は貸與を爲し重要農作物たる米、粟、大豆等に付ては優良種の普及を圖り施肥播種、耕耘、乾燥、調製等の改良に努たる結果併合當時米産額は三十五萬石なりしもの大正三年に於ては四十五萬石に達し粟四十五萬石なりしもの五十五萬石に、大豆二十四萬石より三十五萬石に躍進し、收穫の増加は同時に品質の改良となり著しく價格を増大するに至れるのみならず畜産の如きは牛七萬三百七十二頭より十五万七千七十四頭に達せり、水産物の主要なるものは鰮の加工品其の他大刀魚石首魚等にして其の産額四十四年に於いて十二萬七千二百五十圓に過ぎざりしもの今や二十五萬七千六百八十一圓に達し益々斯業の奬勵に努力しつゝあり、林産として見るべきものは漆、山葡萄にして就中泰川郡産の漆は著名なるものなり山葡萄は葡萄酒ブランデーの原料として年々五百貫を産出し一貫目僅に四五錢にて蒐集せらるゝを以て將來頗る有利のものなる可し





（上）平安南道の特産物
（下）同道面事務所の模型
＝共進會審勢館＝

閑餘隨錄

大谷光瑞

三、香（承前）

印度に於ける麝香と比敵すべきは西アジアの薔薇香水なり印度の地薔薇を産せざるに非ず然れども多くヒマラヤの高地に産し柑橘の如く豐富ならず况んや年に一二箇月の開花期に採集すると樹幹樹枝樹根皆香なると同日の論に非ず故に匿れて顯れず西アジアに到れば雨少なく薔薇最も香ありこれより東ヨーロッパに到る間は薔薇の占有區に屬す蓋し花香は薔薇を最上とす此花最も多種なり然れども香料を採集するはロザダコスヒナとロザセンチユオリアの二種を通常とすこの花支那人知らざるに非ず而も其芳香を絶稱せり滿架薔薇一院香ばしの如きは其の證なれどもこれより香油を抽出することを知らず唯花時に際し芳香を嗅ぐを得ばこれを以て滿足せり四時之を得るの術なく時に大食（今のアラビヤ）より船載し來るあらば駭目するのみ柑橘と薔薇は香中の双王と稱すべく是に頡頏するを麝香とす此香を有する動物は多數あれども最も著名なるを麝即ちモスチユス、モスチフエルスなりこの種族にして小なる高さ二尺に達せず其分布はヒマラヤよりチベツト北西支那の高山及びシベリアに至れり甘肅に産するはやゝ別種に屬しモスチユス、モスチフエルスと名く此小獸は鹿族の特有の双角を缺き上牙長く口外に出づ毛は粗毛にして短し香は臍の邊に小囊ありて之に貯ふこの囊は腹皮を隔て内臟と何等の連絡なし其の形狀も獸の大小老弱にて一樣ならずと雖も雞卵大を普通とす外面白色褐色の粗短毛叢生し中は凝脂狀の物あり即ち香料なりとす倍に稀薄とし始めて馥郁の清香あり是を嗅ぐに決して芳香にあらず數百我曾て西藏より之を得て囊中に貯ふる所を檢するに上に云ふが如し本邦に於て之を如何ともする能はざるによりロンドンに送致し香水を作りたるに兩囊を用ひ一ガロン餘の香水を得たり而も猶普通販賣せる香水に比し更に強烈なり一層稀薄となし愈々清香を放つこの香の特色は香氣の速かに失せざるにあり手巾の如き洗滌の後猶餘香を發せり（此項未完）

日報歌壇

□風籟抄　大芸居

ぬるぬるとなめらかに塗るペンキ屋のズボンに染みしいろいろの色
ペンキ屋の手つきにつれてみんなの眼とだけりもなくひとしく動く
ペンキ屋の手つきよろしもへなへなと見る見る青く塗つぶしけり
さるほどに裏へ廻れば屋根の上こゝにも二人ペンキ屋居たり
このふたり親方とその弟子ならむ肥りしはたゞ見て居たりけり
（以上仁川水族館にて）
惱ましさそゝらるゝ宵やみを草笛かすか吹きも過ぎては
この道をゆけばいづちへ行くものか少しも知らず歩む我れはも
之もわかね君が睡にこのおもひ思ひあらなく流れゐるなり
秋らしもげつそりとわが蒼白の頰の痩せしはいと秋らしも
かゝる所に樹ありとわれは知らざりき日毎とほれる町の坂路
食卓のアスパラガスのさやかなるそよき冷たき初秋の風
ある夕はけろりと忘るおとゝひのきのふは涙しつゝ落日なるも

本日朝刊 附錄共六頁

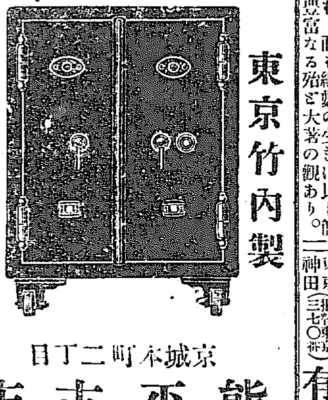
◎會員各位ニ告ク
來ル十六日午前八時ヨリ同十時迄ノ間ニ於テ龍山練兵場ニ於テ飛行機滑走及飛行ノ狀況ヲ親シク會員諸氏其他ノ御觀覽ニ供ス
追テ當日ハ飛行一時間前練兵場ニ於テ煙火三發ヲ打揚ケ可申ニ付萬一右打揚無之時ハ天候又ハ機械不良ノ爲飛行中止ノ義ト了知セラレタシ
十月十四日　京城協贊會

簿記募集
私立認可 日本簿記專修學校
東京市芝區愛宕町

食料品雜貨
海産物 青果物 果實物
問屋 岩城馨商店
京城旭町一丁目（電話八四二番）振替口座京城一〇六番
南大門市場卸部

刑法總則講義案
法學博士岡田朝太郎先生著　菊判全一冊 價金壹圓 送料金八錢
本書は刑法學界の泰斗たる博士が數年間の苦心と絶大なる努力とに依りて公にせられたる物、表題講義案と稱ふるも割註を施し内外の實例を引照して該博を極む、而も紙數の少きに比し簡潔明快内容の豐富なる殆ど大著の觀あり。
東京神田 振替東京三七〇番　有斐閣

金庫
東京竹内製 ベンテング式
京城本町二丁目 熊平支店
電話二四六番・振替京城二二番



眼科 内科 小兒科
入院隨意
京城黄金町三丁目赤門通（電話二四四三番）
本田醫院　院長 本田建義

大好評忽ち七版
現代の要求に應適せる理想的實用辭典
模範いろは辭典
紙數二千八百八十頁 縱五寸五分 幅三寸 箱入
總皮上製 定價貳圓 特價壹圓七拾錢
本書は實業家教育家諸事務員學生諸君は勿論家庭の寶庫として最新の知識を網羅せる空前の大好評書なり
發行所 大阪東區心齋橋博勞町 立川文明堂
振替大阪一六四一番 電話南三〇九四番

松田式ポンプ
家庭用　灌漑用
朝鮮一手特約販賣
京城本町二丁目 釘本藤次郎商店
電話四五番 振替京城二五六番
卸 小賣 及

御大禮式典用靴
禮服入鞄

內田靴鞄製造問屋
東京芝區田伏見町

京城學校組合告示第三一號
京城學校組合 大正四年十月十三日

列强大戰

▲宣戰布告
勃國對塞國

倫敦來報に曰く、勃牙利は塞耳維に對し宣戰を布告せり(紐育電報)

▲獨軍塞地占領

伯林來公報に曰く、我獨軍は塞耳維のセメンドリヤの市及び要塞を占領せり(倫敦電報)

▲羅國參戰保障

羅馬尼首相は時機を見て聯合軍に加入す可きを伊太利政府に保障せりとの報あり(紐育電報)

▲勃軍兩面侵入

勃牙利軍は東南東北の兩方面よりニッシュに向つて進軍しつゝあり塞國首府はモナスチウルに移されたりと報せらる(倫敦電報)

▲希臘國論
新内閣政策と一致

雅典來電に曰く、希臘首相兼外相ザイミス氏は十一日議會に於て發表して曰く新内閣の政策は戰爭開始以來希臘政府が執り來りし者と同一なり即ち現在の中立は武裝的なる可く更に將來の變局に臨みては之に適應するの行動に出づ可しと前首相ヴェネゼロス氏は之に答へて曰く議會の多數は予が政策とする根本主義にして變更せられざる限りは飽迄現政府を援助す可し今日の問題は希臘が戰爭に參加す可きか否かに在らず參加す可きは既定の事實なり爲めに問題は其時機如何に在るのみ勃牙利の擊滅は實に希臘の利益也若し不幸勃牙利にして勝たんか我希臘魂は全く地を拂つて空しきに至らんと因に議會は十八日まで休會せり(倫敦電報)

○佛國外相辭職

巴里來報に曰く佛國外相デルカッセ氏は健康勝れざるを以て辭職し聽許せられたり(紐育電報)

○首相外相兼攝

佛國首相ヴィヴィアア氏はデルカッセ氏の後を襲ひ外相を兼攝することゝなれり(紐育電報)

○米國海軍擴張案
五年計畫

華盛頓來電に曰く、米國海軍長官ダニアル氏は五年計畫にて十五隻乃至二十隻の努級戰闘艦及び之と均衡を保ち得る數隻の巡洋艦潜航艇沿岸潜航艇巡洋艦驅逐艦補助艦等の建造案を提出す可し(紐育電報)

○佛政府信任案可決

巴里來電に曰く、佛國下院は政府信任案を可決せり(紐育電報)

○巴運河塞がる

巴奈馬運河地方の知事は巴奈馬運河を航行する船舶の所有者に對し同運河の通航は近ごろの際に生じたる沈澱物の浚渫工事完了するまで不可能にして其完了期は未だ明言するを得ずと論達せり(紐育電報)

○帝政と附景氣

亞細亞日報は日本が帝政に贊成の趣を大々的に報せり同報は之と共に歐米列國の承認をも報じ居れり然れども附景氣に過ぎざる可し(北京特電)

○奉天借款延期

奉天省が財政整理の爲め借り入れたる大倉組よりの借款百萬圓は十六日が償還期限なるも支拂ひ困難に付き七分の利率を八分に引き上げ償還期を一年延期する事と爲したり(奉天特電)

○奉天赤十字總會

奉天赤十字支部總會は十四日午前十一時開會小澤副社長出席盛況を呈す(奉天特電)

○御大典と表彰

政府は今秋の御大典を機とし各方面を通じて功勞者を表彰す可く調査中なるが内務省は内地及び各殖民地を通じて衛生、土木、地方改良、賑恤救濟及人心作興即ち新聞通信等各事業に就公共の爲貢獻したる者の成績を調査中にして表彰の方法は叙位叙勳を主とし中には單に御大典要中より賞金を授與する向もある可しと(東京特電)

○錦鷄間祇候

川路前熊本縣知事大谷前内務書記官に對し十三日左の如く仰せ付けられたり(東京特電)

從三位勳二等 川路利恭
從三位勳二等 大谷靖
錦鷄間祇候被仰付(各通)

○閣議と新外相

十四日午前十時より首相官邸に於て閣議を開き大隈首相以下各大臣參集劈頭石井新任外相の挨拶あり次いで歐洲戰爭に伴ふ各國の現狀並に巴爾幹の形勢等に關する報告あり終つて明年度特別會計並に殖民地豫算大體關係事項を協議し散會せり(東京特電)

○藥品製造法規

十四日官報を以て染料藥品製造所令施行期日を公布し十月十五日より施行することゝなり同時に勅令第百八十三號を以て之が製造獎勵法施行令の公布ありたり(東京特電)

○多額議員補缺

岡山縣多額納税議員土居通博氏の補缺選擧は十三日選擧を行ひたる結果星野金一郎氏當選し直に貴族院に移牒したるに付近日德川議長より上奏後裁可を仰ぎ貴族院令第一條五項に依り同議員に任命せらる可し(東京特電)

○李王職辭令

十四日李王職々員左の如く任命あり(東京特電)

任李王職贊侍(高等官五等)賜一級俸 李王職事務官 金觀鎬
任李王職典祀 年俸七百圓下賜 李王職贊侍 閔達植
任李王職事務官(高等官六等)賜二級俸 李王職典祀 李源昇

○徵兵と歸化鮮人

露領出稼鮮人歸來期に入り毎船滿員なるが中には露歸化人にして補充兵として徵集を免れん爲め歸國するものありと(清津特電)

○北鮮生牛移出

北鮮牛敦賀移出第一回積載船嘉進丸は十五日城津着生牛二百五十頭を積み敦賀に向ふ筈(城津特電)

○スターチ博士

スターチ博士十四日午前下關着梅光女學校にて講演し同日夜發連絡船にて渡鮮の途に就く(門司特電)

東京發別電

○露注文と民間試作

露國政府より注文兵器は民間に於て試作せしも一も陸軍當局の試驗に合格するものなく民間に於ける製作品は殆ど絕望の姿となれり

○閣議と對支態度決定

政府は國内の異論を廻避するの策として此際對支態度を決定せんが爲め十四日内閣々議を開きたるが山縣元老との間に意見の懸隔あり爲めに大隈首相は近く公と會見し種々折衝する處ある可し

○三國共同援助

英佛露三國は共同動作の下に塞爾比亞の危急を救援する事を決議し軍隊充實の保證を與へたり

○露軍各方面優勢

露國到る處優勢にして各方面の戰局は有利に發展しつゝあり

雜報

●朝鮮商議聯合會
十四日を以て終了

朝鮮商業會議所聯合會の第二日は十四日午前十時半より日本人商業會議所に於て開會せり出席者十三名前日の會議に於て七名の委員附托となり居たる各會議所より提出の議案は大村書記長より委員會の内容に就て提出議案各項に涉る報告あり一同之れを承認す其より讀會を省略して決を採る可しとの動議出でたるが清津會議所提出の東拓出張所設置を要望するの件に就て當該會議所代表者より二三の質問ありたるが結局一時間の休憩を爲し午後の會議に譲ることゝなり中食更らに午後一時十五分再開未議了の問題に就て逐次贊成を求め午前中の問題となりし清津に東拓出張所設置の件は京城會議所に一任することに纏まり決定是にて全部の提出議案中最も重要なる追加案にして出たる朝鮮米移入税復活の風説あるに對し現制維持に關する聯合會の意志を表示する件、長距離電話通話時間を三分を五分とする件等にして尚ほ晏に發布されたる米穀檢查規則、同業組合令、商業會議所令等に對しては聯合會を代表して當局に謝意を表することゝなり、當日議案整理の結果決定せる議案左の如し

▲採用すべき議案
一、米穀檢查規則、朝鮮重要物産同業組合令朝鮮商業會議所令發布に對し感謝の意を表する件(仁川)
一、長距離電話一通話時間を五分間に改正の件(同)
修正
一、朝鮮鐵道支線に朝鮮關税令上の運送手續開始請願の件(元山)
一、市場に於て市場稅及び營業税を重課せらるゝものに對し市場稅免除請願の件(木浦)
一、近時内地に於て朝鮮米移入關税復活の運動あるに對し現制維持に關する本會の意志を表示するの件(聯合會)

▲督促すべき議案
一、輸移出撤廢實行方其筋へ促す件(仁川)
一、水産試驗場設置に關する件(元山)
一、地方特産物移出に對し特定運賃制採用に關する請願の件(同)
一、開局に朝鮮銀行出張所設置の件(同)
一、吉會鐵道敷設速成の件(清津)
一、日本海橫斷航路開始の件(同)
一、牛疫檢查所設置の件(同)
一、東拓會社出張所設置の件(同)

▲宿題とすべき議案
一、鐵道に依り輸移入する貨物と船舶に依り輸移入する貨物と通關手續上差異なき樣其筋に要望の件(木浦)
一、朝鮮穀物の容量を四斗に統一改正の義其局に要望の件(釜山)
一、清津元山間連絡航路開始の件(清津)

○國際貨物最近狀況

朝鮮鐵道局調査に依る九月中に於ける日滿聯絡貨物の成績を聞くに前月同樣内地及び朝鮮より給供貨に輸出したるものにして北滿洲地方より輸入したるもの無く之が總數量は七百三十噸にして其内朝鮮發は六十四噸内地發は六百七十六噸なり之を前年同月に比すれば總數量に於て三百十一噸を何れも更に前月に比すれば四百六十一噸增せり增加貨物の主なるものは綿布(前月に比し三四七十噸增)白米(同七十二噸增)襯衣(同二十一噸增)紙(同十一噸增)等にして蓋し本聯絡運輸開始以來の好況也と斯數箇月以來取引の停滯の裡にありし綿布綿糸等の大宗貨物が支那排貨熱靜穩に歸したる爲め俄然荷動き活潑となりしに加へて襯衣等の如き季節物の需要增加したるに因るなるべし内地發貨物は綿布三千八百七十一梱を主とし白米(西貢米及び臺灣米)九百四十一叺綿糸三百二十四梱、襯衣百三十三梱、紙九十個其他雜貨類にして朝鮮發は小量の雜品を除き全部朝鮮米なるべしと

●駱駝と驢馬の話
滿蒙開拓は形式にあらず實際問題なり＝後藤新平男縱橫論

滿洲各地の視察を終つて十四日午後七時三十分南大門著急行で歸東の途入京する後藤男を途中汶山迄出迎へ貴賓車に悠然と安座高論する男に刺を通じ大に車中談を聞く「何？滿洲視察の感想そんなものは何もない」と緘默したる口から迸出する議論は滾然として汽車の南大門に著く迄續く

八年前滿鐵總裁を辭して後四年桂公と共に露都より歸途通過した儘の滿洲だから四年目と云ふよりも八年振りと言つたがいゝだらう其滿洲を一瞥した事と朝鮮見物とに據つて世人が我輩に何等かの野心ありと爲すは誤つてゐる

▲我輩は醫者でない 今日自ら刀を執り藥を調へない我輩は政治家ではない——所謂政治家ではない今は唯傍觀してゐる許りだ、何滿洲か？其りや非常な變化だ恰も朝鮮の變化の著しい樣に滿洲の變化も著しいものだ今日迄にも既に立派に發達してゐる今後尚大に發達して貰ひ度いと思ふ殊に愉快に堪へないのは沙河工場だあれ丈けの科學的な設備なり組織なり母國孰れの工場に彼れ丈の設備を見得るか之に反して

▲我輩の遺憾に堪へない のは本邦の所謂視察者である滿洲を視察しても沙河工場の完全した設備を見る者なく縱令見て來たとしても或は滿洲の中央試驗場なり朝鮮の中央試驗所若しくは水原の勸業模範場なりと比較視察して其設備の價値を認め得る者が果して幾人あらう一事が萬事だ我輩の言はんと欲し憾みに思ふのは

▲大和民族の現在である 人心は疲弊困憊して唯休養をのみ翼つてゐる、然し乍ら今起つか蹶れるかの國を賭してゐる獨逸にも評議時代はあつた日本國民が將に伸びんとして正に屈してゐるのも惡くは無い去り乍ら眞に伸びるの時期は何日か歐洲大戰終局の時に於て大和民族が如何に爲さゞるべからざる多大の事を持つてゐるかは今更論する迄もない然るに此疲弊した民心を奈何せんやだ然も我輩の更に切言したきは大臣拓殖論である人の植民を論ずるあれば必ず我輩は大臣拓殖論と言ふのだが總督にしても都督にしても其開拓統治すべき殖民地と共に尚ほ夫れ以上に離き

▲大臣の頭腦開拓を やらねばならないのだ夫れも後から後から設計と設備を打碎いて行くに至つては論外だ我輩は敢て問ひ度い山本内閣の滿鐵改造が今日何等の利益を發した？否一歩を讓つて利益は問題外としても何等の進歩があつたと。唯利を漁ふが爲め口のみ植民地を重視する樣な政黨に何等の事が出來得やう一體日本の政府は條りに都督なり總裁なりを代へ過ぎるのだ任に赴いて漸く計畫が立てられる頃には早やくも交迭させられる見よ露の極東政策を、極東總督が幾年勤續してゐるか徒らに首腦を代へるのは

▲政策の實現に禍ひする のみだ今日以後に於ても滿蒙に爲すべき事は幾らもある條約文の如きは形式のみだ滿蒙開拓は形式ではない實際問題である要は事に當る人物の如何にある駱駝は沙漠を越し得るが驢馬は其任でない驢馬に多くを望むのは望む方が無理だ滿洲と云ひ蒙古と云ひ朝鮮と云ふも元是れ一つのみ形式に於てこそ差違もあるが實質は同じだ人物を得るの必要は茲に在る近時朝鮮銀行が滿洲に支店を設け東拓が滿洲に對する調査を爲した如きは眞に悅ぶべき事である大に進むがいゝ、發展するがいゝ打つて一團となした大陸政策が大和民族の手に振つて爲さゞる準備の爲めに。

●後藤男爵入京

滿洲地方視察中なりし後藤男爵は十四日午後九時大連より南大門驛著馬車にて總督官邸に入り一泊の上十五日午後七時五十分南大門發にて歸東の途に就くべしと

●支那大官來鮮
十六日朝南大門驛著

北京政府代表者農商部次長金邦平氏及び奉天段上將軍代理張作霖中將の代理馬廷亮氏等の一行三十餘名の共進會觀覽團は十五日午後八時三十分新義州發臨時列車にて十六日午前八時四十分南大門驛著入京するが總督府よりは草場通譯官軍司令部よりは森少佐鐵道局よりは和田參事等出迎の爲十四日夜新義州に向け出發せり

●中部鐵道視察團

中部鐵道主催朝鮮視察團一行二百名は左記日程により渡鮮視察の筈なり

▲十五日 午前六時臨時船にて釜山著▲十六日 前九、四〇釜山發後二、二〇大邱著後八、〇〇大邱發▲十七日 前五、〇〇南大門著▲十八日 京城滯在▲十九日 後九、〇〇南大門發▲廿日 前六時鎭南浦發後一、五〇平壤著▲廿一日 前一〇、〇〇平壤發後三、五〇安東著同日奉天へ向ひ一日滯在▲廿四日 後六、〇〇安東發後一二、〇〇新義州發▲廿五日 前六、四七開城著同後二、二五南大門著▲廿六日 自由行動同後六、一〇南大門發▲廿七日 前四、五〇釜山著臨時船にて釜山發

○府令二件發布

十五日總督府官報を以て左の通り府令二件を發布せらる

一、朝鮮總督府營林支廠及び營林廠出張所の名稱位置及び分掌區域(十一月十五日より施行)
一、官營水道給水規則全文四十六條(十二月一日より施行)

●仁川九月晒金市

仁川九月中晒金巾輸移入は十五萬一千九百六十八圓にて前月の十一萬二百八十二圓に比し著しく增加せるは時候愈々秋冷を覺え本品も愈々需要期に入りたる爲めにして前年同月の七萬六千九百三十四圓に比しても著しく增加せるは寶値の相場宜敷と見越注文の到著せるに基因せり市場賣行は良好にし價格は九牡丹一反六圓七十錢銅雀臺六圓三十錢にして月末在庫は約百六十梱なりと

●細川侯爵急遽歸東

細川侯爵は風邪の爲め旅館朝鮮ホテルに引籠り療養中の處病氣治癒と同時に要件出來したるを以て元山、南鮮其他地方の視察を見合せ急遽歸東することゝなりたるが多分十五日午後九時十分南大門驛滿鮮急行列車にて出發することゝなる可しと

●開業醫藥種聯合會

山崎大祐堂主催となり十五日正午慶會樓に於て朝鮮開業醫藥種商聯合大會を開き夜は演藝館に於て天勝一座を觀覽する筈なるが參列者は六十餘名

●藥師川大佐招待會

十四日午後六時より警務總監部及び憲兵司令部の高等官十三名は入京中なる前の京畿道警務部長藥師川大佐を南山町松葉に招待し晩餐會を開催せり

●市原總裁遺族引揚

故市原鮮銀總裁の遺族は來る十七八日頃京城引揚げ東京市四谷大番丁自宅に移轉す可しと

●德富監督歸京

金剛山探勝中の德富本社監督は十五日午後五時二十分南大門驛著歸京すべし

人事消息

▲杉原榮三郎氏(東京商業會議所副會頭) 十四日入京巴城館へ投宿
▲赤松晉十氏(同書記長) 同上
▲八木兵衞氏(仙臺商業會議所議員) 同上
▲小原辰三郎氏(同) 同上
▲福留喜之助氏(臺灣總督府殖産局工務課長) 同上
▲鈴木惣兵衞氏(名古屋商業會議所會頭) 同上
▲小牟田十太郎氏(大邱警察署長) 十四日東京旅館へ投宿

長箭灘頭 佐々木照山

昨雨新晴向長箭灘。塢頭與蘇峰先生邂逅。立談零時。一笑分手。別後投旅亭。同遊峽南兄有寄先生詩。余亦次其韻。
君道眼中逸泰山。翔不金剛在眉間。白雲直下留筇處。一葉却看浮碧灣。

商況

大阪株式特電

新株	九四、五〇	十月限
同東洋棉	六七、一〇	十一月限
大阪商船	八三、六〇	十二月限
日本郵船	一〇〇、九〇	一月限
[illegible]	一三三、[illegible]	[illegible]

十月限	一一八、〇〇	一一七、九〇
十一月限	一一八、六〇	一一八、五〇
十二月限	一一九、六〇	一一九、六〇
一月限	一二〇、九〇	一二〇、八〇

下關期米

▲十四日後場(動機待) 寄付 一一七五 一二〇〇 一二〇五 一二三四

▲後場の商戰

[illegible]錢と返し今の千石やりに㊀より一手に三千石㊃ろより得たりさ㊂其他より利食賣は[illegible]錢安に寄付たるも買物多く[illegible]十一、二錢と返したる折[illegible]より千五百石買向ひ意外の大商内となり大阪は[illegible]四錢四十六錢と高移りに三錢と一歩引緩[illegible]大阪止四十三錢と入電に高を受けて三錢と進み引の際大阪止を入れて[illegible]千餘石の賣に㊀より五千餘石買向ひ[illegible]接し五十二錢と[illegible]台不動の儘散會[illegible]

塲況

寄	直	入四十九錢
止	直	入五十二錢
高	[illegible]	入五十三錢
安	[illegible]	入四十九錢

出來高 二萬千七百[illegible]

十月限 千九百石
十一月限 一萬七千六百石
十二月限 一萬七千八百十石

成功致富の近道は何か
まづ株式相場をなすに限る
株の賣買は決して危險にあらず
『富强世界』社長 高柳淳之助(寄)

△今の富豪は皆株にて金を儲く
[illegible]

△相場に失敗者多きは何故ぞや
[illegible]

△株とは如何なるものか
[illegible]

△株を持つ利益此の如し
[illegible]

△未亡人株の賣買を始む
[illegible]

△株の賣買の利益此の如し
[illegible]

△株の相場をなすとは如何
[illegible]

△株の相場下らば如何するか
[illegible]

△株式相場の研究
[illegible]

△株式相場講義の發行
[illegible]

△株式賣買の資金
[illegible]

△株は何人でも何地でも出來る
[illegible]

△空論にあらず實際的なり
[illegible]

△余の採算的相場觀
[illegible]

△一刻も躊躇すべからず
[illegible]

秋祭り
雨券藝妓連は仕丁姿の總出で　は素晴らしい賑ひ

大共進會

朝鮮年中行事の内で市民が待ち兼ねてゐる京城神社の秋季大祭も近づいた、今年は役人の手から

▲市民の手に　引移つて氏子總代が擧げられて始めてのお祭りであると同時に共進會の賑ひ最中こあつて寄々協議を凝らし盛大に執り行ふ筈であるが十六日に午後八時から京城神社に於いて前夜祭及び神饌、神輿渡御祭を執り行はれる、此の夜は特に盛況を添ふるため境內には電燈、提灯等を點じ餘興こして飛入勝手の宮角力がありその優勝者には市內各吳服店その他から寄贈された景品が澤山ある、十七日は午前八時から祭典係員その他が集合して大祭儀式を行ひ十時には愈々神輿の御發渡といふ事になる、その順路は昨年と大差なく夕刊記載の通りだが

▲龍山に渡御　同地に御一泊の上十八日午前九時龍山御旅所を御發輦豫定の順路を取つて正午京城日報社前に御休憩の上午後一時御出發午後四時還行の豫定である、還御祭はそれより行はれ大祭終了の運びになる譯だが十六日より十八日までの大祭中は本社で特に本町二丁目花月入口の古[illegible]前から共進會社前までの道路の兩側に

▲京城神社の紋章付の大提灯を立てる外神輿の渡御には

▲氏子總代を　始め三百餘名の祭典委員並びに市民有志、雨券藝妓、雨妓生組合の妓生が行列に加はり南大門外まで御見送り御出迎へする筈である、藝妓は演藝館出演の都合上京城券は十七日、中券は十八日何れも總出で仕丁姿で屋臺を曳き出し妓生の方は普通服に囃子太鼓を先頭に繰出す事になつてゐる

飛行機觀覽
十六日の午前　尾崎氏の說明

尾崎行輝氏の操縦せる飛行機三重號の京城訪問も大成功の裡に來る十七日褒賞授與式當日の會場訪問飛行を最後に目出度終了して同氏等は飛行機と共に內地へ歸還する、そこで十六日には午前八時から十時まで二時間協贊會員其他に龍山練兵場で滑走及び飛行の狀況を觀覽せしめ尾崎氏自ら說明に當るとのこと、此日は飛行開始一時間前に三發の煙花を合圖として打ち揚げ飛行の豫告をすると云へば、若し煙花が揚らねば天候か機械か不良の爲め中止したものと思ふ可く、煙花が揚つたら龍山飛行場に行かれたいとのこと

賣店 大福引
聯合賣出の景品　一本も空籤なし

共進會大協贊會場の各賣店は褒賞授與式當日なる十七日から向ふ一週間即ち二十三日まで聯合福引付大賣出しを擧行する、その福引は甲乙との二種に區別されてゐて、一圓以上を買つた者には甲種の福引券を進呈し、五十錢以上の者には乙種の福引券を進上する、甲種の一等は四十圓相當の品物を、乙種一等當選者には二十圓價格の品物を呈上する、その外一本も空籤なし、といふのだから共れで無くても客足の繁い賣店構內はこの一週間は大當りの賑はひを見るであらう

藝妓變裝行列

京城協贊會では廿四日藝妓、妓生約二百人許りの大變裝行列を擧行する由

神代の宮
大嘗宮大半竣成

京都仙洞御所內に御造營中の大嘗宮は昨今に至り略ぼ完成を告げたり、今其模樣を拜記せんに申も畏けれど御神域は常盤の松綠深く鬱々と茂り苔蒸したる御庭の中央には大嘗祭に際し　陛下入御の廻立殿あり其前面東を悠紀殿西を主基殿としいづれも東西四間、南北七間にて兩本御殿の中間に當り皇后出御の帳殿(御設備は出御あるべきものとして)の御設けありて廻立殿、帳殿及び兩本殿何れも中間御廊を設けさせらるゝが各殿及び御廊下に至るまで茅葺の御屋根にて棚松等の棧木造りにて釘鉋は一切使用せず藤蔓にて結びつけ近江表の壁代を張られ御床は青竹を用ゐさせられ柱はすべて堀込みにて外部には兩本殿の御屋、釆女詰所、掌典詰所、參列大官の幄舍等あり其外部は柴籬を繞らせらるゝものなり而して兩御本殿の前面には各々松の棧木のまゝなる鳥居を建てさせ東西及び南の三方には杉の磨丸太の鳥居を都合九基建てさせらるゝなり、遙かに拜しまつれば森嚴古樸にて神秘を籠めし御建築にていとも畏し、尙ほ各御建物の御屋根は既に葺上げ目下屋內の御造作中にて柴籬も十三日着手せらるゝ筈なりしと(大阪支局)

御所內奉拜者

御大禮に際し　聖上陛下京都に御著御ありて東京に還幸まで伊勢大廟を初め傍畝及び前四帝陵に御親謁のため此の行幸還幸につき一般庶民は沿道に於て鹵簿を拜觀なすべきも特に御所內に奉拜を許されたるものは公共團體約四萬學校生徒三萬高齡者陪添共七千人なりと(大阪)

十四日夜家庭博入口に於て入場者の福引を引く光景

姙婦落雷の爲めに燒死す

京畿道江華郡長峯面串里三統二戸權重仁方に十一日落雷して家人の震死したる椿事あり同日は正午頃より一天黒雲蔽ひ物凄き氣配なりしが同日午後二時半頃前記權重仁方にては他の家族は奧の室に閉ぢ籠りたるも同人妻韓氏は居宅の表內庭にて米搗をなしゐたるに俄然眼を眩く閃光と共に一大音響にて同家に落雷し强烈なる電氣は上壁を貫通して同女の身邊を掠めたる爲め感電し其場に打倒れて人事不省に陷り遂に翌十二日午前七時頃腹部背部等は黒焦になりて絕命したり然るに同女は目下姙娠九箇月の身なりしと尙其の際重仁の實父某も感電して數時間人事不省に陷りゐたりしが其後回復して生命に別條なきも尙兩手に疼痛を感じ居れりと

女萬引捕はる
贓品のモスリンを身體に捲付く

十二日午後四時頃京城本町二丁目丸一吳服店に年頃二十四五の怪しい女入り來り買物をなす風を裝ひて立去らざるを折柄通行の本町署の刑事が迂散なることゝて町署に同行して取調べたるに同人は山口縣柳井津町生れ鳥取縣西伯郡米子町に籍を有する津田事山田きえ(二七)にて明治四十三年渡鮮し馬山統營釜山等の沿海にて運送業をなす津田芳榮と夫婦となり統營に同居しゐたりし所事情ありて九月十六日離別し單身釜山に出て大廳町長宗理髮店に居る安田晋藏を便り行きて厄介になり本月八日共進會見物の爲め仁川に來り花房町の松本淸方に厄介になり十二日午後二時頃仁川より京城に來り前記丸一吳服店にて店員の隙を窺ひモスリン一匹(七圓五十錢)を萬引し次いで本町二丁目夏川小間物店にて銀製の簪一本(八十五錢)櫛一枚(一圓十錢)を窃取して私に匿しゐたるを發見せしが同人は腹部膨脹し居れるより訊ねたるに姙娠五箇月の身なりと云ふも曖昧なるより取調べたるに大膽にも前記窃取したるモスリンを全部腹部に捲著け居るを發見したりと尙餘罪ある見込にて取調中

無賴漢の屛息
浮浪人狩の効果

十日拂曉京城本町署にて大活動の末檢擧したる浮浪人は內地人十二人鮮人二十六人支那人一人計三十八人なりしが內地人は所謂金筋と稱する組にて前身を調ぶると土方が最も多く其他は賭博常習者の如き輩なれば殆ど無教育者のみにて年齡は三十以上四十四五位迄の者のみなりと而して彼等の常套手段としては一樣ならざるも或は土地の賣買周旋方を名として双方より幾分宛を貪り或者は賭博を勸誘して開帳場にて其方法に苦情を唱へ場錢の幾分を刎ね取る者或は他人の非行や缺點を探し出し之を種にして酒食を貪るもの或は紛爭事件を煽動して訴訟を勸めて左袒する如く裝ひ金を强請する者等にて是等は絕えず其筋の目をぬすみ巷間を荒し廻りゐたるものにて鮮人も殆ど同樣の手段を以て徒食しゐたる者なるが鮮人にも近年是等智識犯に屬するもの漸く加はり居る傾向にて這回の檢擧に就て是等無賴浮浪の徒は大恐慌を來し檢擧を受けざるものも大に警戒謹愼の姿なりと

地方賜餐と外國人

地方に於ける二條離宮の御大饗當日の饗餐を賜る可き資格者には外國人を含ませざることに決定したり(大阪支局)

京都驛御便殿竣工

御大禮に際し　聖上陛下京都驛御著御の上御休憩遊さるゝ御便殿は西部鐵道管理局の渡邊技師主任となり建築中のところ來る十五日全部竣功なす由(大阪支局)

感心な巡査に銀杯

共進會場迎秋門附近にて九月二十三日午後十時半頃一人の鮮婦人が泣きながら晉子の迷兒となりたるを探し居るを居合せたる巡査鈴木梅次郎氏が熱心に搜索し遂に發見し引渡したるを折柄通行の子爵趙重應氏認め同巡査は誠に職務とは言へ熱誠なりとの事にて同氏より鈴木巡査に對し右表彰の爲め銀杯一個を贈り度き旨松井鍾路署長宛十三日交涉する所ありたりと

文展に入選したる十七歳の青年

今回大阪より文展に入選したる洋畫家中に十七歳の少年あり精華學院に於て專ら圖案研究中の藤田政雄といふ畫題は蜚疲時とて大阪築港夕凪橋の邊より遠く海邊を背景にして物に倦んだる子守女の立てるところを薄き調子の色彩にて如何にもボンヤリと描きあげた二尺に三尺位の油繪なるが此の畫生には今夏中三月越しの苦心を重ねたる由同氏は同年輩の友人三名と今年の文展へ思ひ切つて一枚宛出して見ようかといふ相談から右の畫をかきしも何うして送つてよいか分らぬので出品協會支部の荷扱所へ手續を聞きに行き自ら四日締切りの第一便に友人共々擔ぎ込みしといふ(大阪支局)

米人の特志

在京城紐育スタンダード石油會社支配人米國人ヱツチ、イー、マツグルー氏は同會社を代表して去る七月中洪水の爲め損害を被りたる同會社附近の窮民救恤の爲め金一百圓を適當に分配せられ度き旨其當時右金額を添へて總督府に申出でたるにより總督府に於ては關係官廳に命じて被害民を調査せしめ頃日十二名の朝鮮人に對し其分配を了したるに是等鮮人は非常に其厚意を謝し居れりと

飛行機機體觀覽

▲本月十七日迄毎日飛行時間合に龍山練兵場格納庫內に於て觀覽に供し係員より說明す

▲觀覽料一人五錢小兒及制服軍人學生參錢三十人以上は半減

京城協贊會

漢江から屍體

高陽郡龍江面加中里三十七統九戸李成根(六〇)は前より病氣の爲め糊口に窮したる結果八日午前五時頃同里を流るゝ漢江に投身して自殺し屍體となりて浮び居るを發見し高陽署より警官出張檢視の上屍體は實兒李允信へ引渡す

使に行つたまゝ

慶北大邱府南城町八十二番地金鍾九三男金鶴洙(一九)は去る六日父の命に依つて柴谷郡地方へ使ひに行きたる儘行衛不明となりたるより後にて同人の所在搜索中鶴洙は出立の際同地慶北農工銀行の通帳を窃み出し預金高百八十圓の內を百二十圓拂ひ出し殘高六十圓の帳簿をも携へて出奔したることを發見し多分同人は其儘共進會見物に京城に立越したるものならんとの鑑定にて同人の取押方を實父より鍾路署に願出でたり

種苗目錄　進呈　大阪市外天王寺村　藤田次太郎

家庭博覽會

お米とお酒と醬油と味噌
藝妓券と料理券の出ると云ふ景氣
家庭博の福引的大景品の大當り

十四日午後の家庭博景品券引換所には隨分珍談が續出して却々の賑ひだつた午後の二時過ぎ入場した金斗信と云ふ鮮人、入口で景品の籤を引いた所見事に三等が飛出した、早速引換所に來て引換へて見ると現金が二圓、十錢の入場料で有益な家庭博を見た上一圓九十錢もお剩りが來たので金君大喜び、此の二圓を無いものにして直樣入場券を二十枚買ひ二十本の籤を引いた所今度は現金は當らなかつたが、等外の景品は出たりも出たり俱樂部化粧品、百圓票に淸心保命丹、レート白粉に、ミルクキヤラメル、筆に紙に、インキ壺、と二十種の景品は持ち切れぬ程の當さ、金君又たもや大喜び、南大門驛の淸水助役に味噌が一樽當つたのは大愛嬌此福引的景品の提供は意外の人氣を呼び其後白米一斗入の俵、醬油一樽、淸酒一瓶などの寄贈あり又花月が藝妓券三十枚を寄贈するや料理屋では料理券を寄贈したいと云ふ向きが出て來て居る、三人連れで料理券と藝妓券と酒とを當てれば一組となる、十五日家庭博は大した景氣だらう

○正誤　昨朝刊家庭博景品寄贈欄の內中山太陽堂よりの寄贈品俱樂部化粧品三百個とありしは三千個の誤植に付き訂正す

□今日の演藝館□

△晝　間

▲御代の榮　玉龍、花龍、若子、高子、小染、その…

▲つひのよるべ　千代菊、三郎、政勇、小牡丹、若菊

▲地方　喜代、その、若一、蝶々、光奴、金五郎、牡丹、小高、いろは、金玉龍、雪子、一若、喜美子、おきし、ぽんた、鶴丸、玉太(以上中券)

▲一佳人剪牡丹　金春外、金丹桂、李錦珠、…

▲四仙舞　李錦姬、郝蕾紅、崔蘭、姜春紅、李…

▲扶聲、栗山月

▲舞山香　洪菊花、謝荷月

△夜　間

▲天勝一座(奇術、魔術、サロメ劇)

入場者には必ず當る抽籤―(景品二萬餘點)

家庭博の大景品(十三日より晝夜一週間)

番外飛入奇想天外の大景品が毎日續々と現はる

大阪三品

大阪期米電報

仁川米豆取引所

▲更に動かず

十四日の十二月限

京日案內

●普通　一回前金二十錢(無割引)

◉賣却　山野武百餘町歩所在揚平郡漢江上流壹里內稚樹在五六町歩含價坪平均五厘　京城府桂洞△林業社　750

●周旋業　●娼妓●酌婦●仲居　女中●取扱確實迅速　萬成舍　京城黃金町三丁目　電話二七三五番　658

●貸家　日本建溫突付三室至極閑靜官吏向漢陽公園南裏　管理者　龍山印刷局先畑中　677

●看護婦入用　免狀所有者希望の方は履歷書を送れ　仁川寺町　仁川看護會　743

●紳士招聘　齡廿五歲以上の內地人希望者履歷書携帶來談　本町二ノ壹〇六　大正生命保險會社京城　742

●有給外交員數名採用希望者履歷書携帶本人來談　帝國圖書普及會支部　京城花園町壹武武番地　745

○女店員數名募集す十二歲より卅歲迄保證人要給料面談(壽館前)　京城本町二電二七五二番　△乃木餅屋　728

●番外　一回前金六十錢(無割引)

積保證金　商記計算に熟練普通學才あり會社又は信用ある實業商店に雇聘されたし身元保證金及確實なる保證人あり年齡不感(姓名仁川支局)　748

募集　綿藥香販賣人數名募集便利なる御相談可致候御希望の方は即刻御申込被下度候　本町二丁目　日の出商行　749

恩給年金類立替　京城武橋町二十三番地　京城日報社北右に入　電話二二八三番　國江商會　708

◉土產品は翡翠に限る　朝鮮豆●朝鮮名產●高麗豆元祖　珍菓●新羅豆　五五一番　目村井商會取次　櫻井町一丁　電話二三六八番　明治町二丁　735

●看護婦及見習看護婦募集　希望者は大至急御來談ありたし　京城旭町二丁目六番地　瀨戸外科醫院　736

外勤店員　至急入用齡廿歲前後の確實な者但し保證人を要す　△かまぼこ司　京城本町二丁目　松井筒　737

●御大禮紀念附錄申込諸者に進呈す　◎神戶又新日報　一ケ月卅五錢　(南山町京城券番隣)　京城龍山　專賣店　電話壹武六番　町田新聞店　738

賣地及家屋　市內外に有拾五萬餘坪各筆に分賣す希望者御來談ありたし　電話九三五番　本町三丁目　森川商店　739

◉古着古道具類一般　右は相當價格を以て誠實に買受候　旭町一ノ卅一　電話一八一二　クヅ谷商店　680

好職業　新案美術商品優良ゴム製品事業年中無休月收卅圓以上志望者郵券十錢送れ營業案內品見本並る共進會期中無料傳授の便あり　京城大漢門前　太陽ゴム商會　681

▲花柳病專門藥房　詳細は本月三日の京城日報を御覽　京城南大門外　ドラック商會　電話二五六七(振替四六七)　687

●日本製六〇六號　『アルサミノール』注射開始　京城明治町一丁目(元醫町)　△皮膚科　佐藤醫院　744

皮膚病花柳病專門　永樂町商品陳列所坂の上　須古醫院　電話二一〇二番　566

恩給年金類立替　京城若草町一丁目一〇六井出邸內　電話二二六三番　西村商會　712

朝鮮總督府
一、木材外一點
右競爭入札ニ付ス詳細ハ十月十五日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府ノ告示ヲ見ヨ

入札拂下
京城府臥龍洞所在一建物壹棟拾八坪貳合貳勺右賣却ス委細ハ十月十五日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ看ルヘシ
大正四年十月十四日
朝鮮總督府

自動車開通
●芙江淸州間　毎日四回
●淸州忠州間　奇數日
忠北淸州本町四丁目(電話五五番)
忠北自動車運輸組合

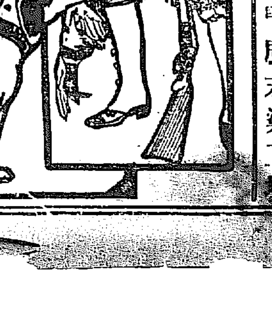
生儀左記の所に家屋を新築して事務所並に住所を移轉致候に付謹告仕候
京城府淸進洞一七五番地(元相思洞)
辯護士　朴勝彬

資本減少公告
當會社資本減少ノ件左之通リ株主總會ニ於テ議決致候間異議アル債權者ハ來ル十二月十五日迄ニ申出ラル可シ
一、資本減少ノ方法ハ現在ノ資本金壹百萬圓ヲ金貳拾萬圓ニ減少シ現在ノ株式總數貳萬株ヲ五千株トス
一、株式併合ノ方法ハ現在ノ株式一株五拾圓ニ對スル拂込濟金額拾圓ノ一株ニ付キ金七圓五拾錢宛缺損消却ニ充テ而シテ一株ノ拂込濟金額ヲ拾貳圓五拾錢トシ其ノ四株ヲ併合シタルモノ(此拂込濟金額五拾圓)ヲ以テ新株ノ一株トナス
大正四年十月十二日
朝鮮勸農株式會社
專務取締役社長　岡十郎

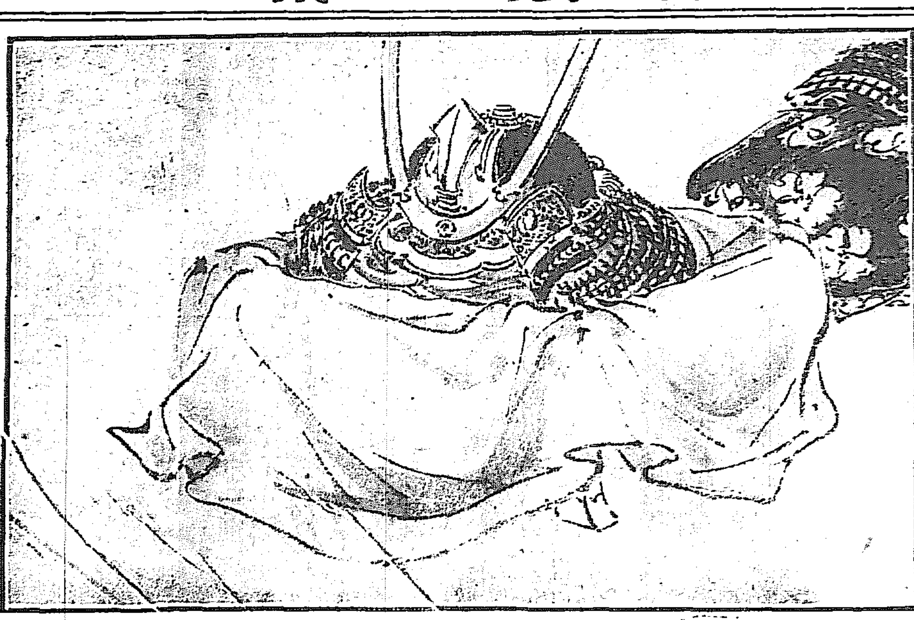
旅館　月見館
東京市芝區愛宕町二丁目
茶代廢止席料なし
閑靜淸潔交通便利
電話芝一八六五番

美術　京染
ハツピ。印手拭。風呂敷。其他印物。紋附萬染物
釜山大廳町二丁目　鹿末染工場

轟號無鷄頭貳連獵銃
舶來ツアイストーツ銃身三重止
賣價金四十二圓
銅牌受賞



獵銃獵用具散彈
火藥雷管爆藥類
卸小賣廉價販賣
東京市日本橋區本銀町二丁目
川口屋林銃砲火藥店
電話本局(九百二十番・一千七十五番)
振替口座　三九一一番



千生瓢 (12)

須藤南翠作　筒井年峰畫

颶風の前（十二）

平野權平長泰は、御使を仰せ蒙つて、一矢に倉知、水島の二驍將を射落し、また敵の大將瀧川左近將監一益の兜を射切つて、名譽の弓勢を現はしたので、馬副の士に一益の兜を持たせ、急ぎ本陣へ立ち歸つた。

秀吉は小姓達に酌を執らせて、入らぬ大將等を集め、戰捷の酒宴を開いてゐたが、長泰が歸陣したと聞いて、直に玉座に召し出した。

『彥右衞門は聞ゆる勇將ぢやが、武運はもはや傾いた。氣の毒ながら敗戰致したであらうな』

秀吉は莞爾として杯を啣んだ。長泰はハツと領承して。

『長岡殿、中川殿と入代り、唯今追ひ擊ち最中におざりまする』

『敵も左る者ぢや、退路を安くするため、遊軍の備へある筈、長追無用と申し渡したであらうの』

『御意、落ちなく申し傳へおいてござりまする』

『太儀であつた、杯與らうぞ』

『ハツ』長泰は袖の襴金具を鏘々と鳴らしながら、膝行して杯を受けた先づ一盞を傾けて其杯を納めようとするのを。

『いや〳〵、苦しうない、予に返せ』と手を出した。

『然らば恐れながら』と懷紙に杯を拭つて、恭しく返杯した。

『御流れ難有く頂戴仕りました。慮外ながら長泰お肴仕りたうござりまする』

『それ重疊、疾う疾う。』

『畏りまいてござります』と長泰は坐を立つた。

やがて三方に載せた兜を捧げて、恭しく秀吉の前に進めた。

『御使ひ先の御土産、御受納下し置かれませう』

『ほゝう、美事な土産ぢや』

秀吉は引き寄せて、倩々と眺めて居たが、急に面を曇らせて。

『驍も老ひては駑に劣ると申す諺、秀吉今ぞ始めて知つたぢや、英雄の末路ほど憐れなものはないのう』

愍然として目をしば降くと、列座の諸將も何事とは知らねながら、孰れも同感を表するのであつた。

『各にも見覺えおざらう、此兜は瀧川彥右衞門の昔より何十箇度の戰場を往來致いて、未だ一度も敵に鏟を見せた事のない、名譽の兜おざつたに、長泰風情の手に渡して、而も秀吉が目通りに出づること、兜にして心あらば、いかに面目なき事であらう』

斯ういつて兜を手にして、並居る諸將に示すのであつた。

敵を愛する秀吉が海の如き洪量は諸將の心に深く銘まれた、敵にすら是丈の同情を持つてゐる將師である、それに隨ふ將士に對して、常に温かな血の流れてゐない事はあるまい。斯ういふ良將の麾下に馳せ參じて、天下の爲に忠戰を勵むに於ては、子々孫々の末に至るまで、駘蕩たる春風に育せられて、永く家運を保つのは必定であると考へられた。

『天晴の御土産、平野殿いかにして得られ申した』

諸將は異口同音に、其戰況を聞かうとした。長康は誇るべき氣はないけれども、一應其戰ひの模樣を物語つて。

『長康が弓矢の手柄とは存せぬ、瀧川殿御運の末、皷に御痛はしう存じ申す』と謙遜した。

『徵くも申した、當座の褒美、長泰前め』

秀吉は腰に帶した鄕の何某が小刀を脱して其を長泰に賞賜した、長泰は面目身に餘つて、押戴く手がわな〳〵と顫えてゐた。

折からまた一二の陣から使者が來た、名ある將士の首級を齎らして、實檢に供ふるのであつた。

第一番に披露したのは、倉知仁太夫、水島左門兵衞の首級、是は平野權平一矢にて射落したものとの報告であつた、其から岡部常藏の首級、是は長岡九郎等三淵平馬允の獲たもの、海老名十次衞門の首級、是も長岡の郎黨清水縫殿、六十三歲の老武者が拔群の働らきと注された、秀吉は是等名譽の武士に、其々恩賞を與へた、諸將は期せずしてえい〳〵おうと高唱した。

大割引 自動車
新羅一千年間の舊都（朝鮮の奈良）慶州に遊べ
京釜線大邱驛より快走タツタ二時間と半！更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

泌尿器病
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痳疾 皮膚病 専問
入院隨意 診療夜九時迄
永樂町二丁目金光教分降り 安部醫院 電話四一九番

梵魚寺に松茸狩の歸り途
身體の疲勞を休めるは溫泉場
（鑛泉はぎの湯）蓬萊館へ 電話東萊九番
往きも歸りも電車にて便利僅に二十分

●ヒマヤラのローマンス(一)

印度ダルヘメシーにて　松尾啓英

□勇ましい英姿

清らかな涼しい朝の山風がスーと石楠樹の森を過ぎて、私の小さな書窓に這つた時、今迄長く〳〵續きも續いた所謂印度ムンスーンは何處か的なき處へ去つてしまつた、そして空には朝から夕まで毎日〳〵一點の雲も無く緣の美しい空は何萬里となく續いて居る、私は毎朝起きると直窓を開いて遙か北天に聳ゆるヒマラヤ山の英姿を拜し樂しむのが私の毎朝の仕事の樣なんです、今迄憎いムンスーンで毎日雨や霧の爲で私の愛するヒマラヤも見せて呉れませんでしたがムンスーン漸く去つて再び私を樂しい眼界に浮べて呉れました。

東の空の鉛の山から紫紺眞赤な金の樣な太陽がふわりと浮いて出て來る、之と同時に遙か北天の雲湧き返る裡から二萬八千フイートのヒマラヤは白銀色の著物を著てヌツト天の一角に現はれて來ます、忽ちにして四圍の雲影が光輝燦爛たる旭日に湧いて黃金を溶かした樣に見えるのです、間も無く此の雲が行方に遁げ去ると臥つてシーに銀色眩ゆい氷雪のヒマラヤが空一ぱいふさがつて蹈れるのです同時に之に映ずる旭日の光輝が四方八方に散り始めて、海に宇宙の莊嚴美觀を呈するのです、此時に及んで人間なんかは滄海の眞砂の一粒よりも小さくなつて『實にヒマラヤは大きなものだ』と云ふより外に詞はありません、然も遙かに疊々相重ねたヒマラヤの山脈がパノラマ的に氷塊の城を築いて宇宙は之が爲に獨占せられて居るのでは無いかとの感想も起きるのです、實に宇宙の偉大であると云ふ事はヒマラヤの此の景に接して一寸言ふを得可き事なんでせう

親切なるあのヒマラヤよ！汝は私のこの小さい胸を偉大にして呉れる親しき友一寸の汚れも無いあの白山よ！汝の毎日〳〵朝から夕まで多くの人々に賞美さるゝ雄大なる白雪の英姿よ！汝は確かに世界萬國の王樣であらう

新刊と批評（批評希望者は編輯局宛寄贈本のこと）

▲大上海（内山淸、山田修作、林太三郎共著）著者は何れも多年支那研究を以て其の事情に通ぜる人々なるが本書は上海を汎ねく世上に紹介せん爲めの著にして其視察者を問はず新に在留せんとする人を選ばず上海の一般事情を知らんとする人の是非一見を要する好著なり（上海海寧路太安里十八號大上海社 一圓五十錢 郵稅廿錢）

▲修養寶訓（友田宜剛著）近時修養の要を叫ぶもの頗る多し著者又た大に感ずる處ありて此の著あり古今の修養寶訓を集む世上の靑年のみならず一般男女の一讀に價する好著たるを失はず（東京本郷區駒込坂下町四八大日本雄辯會 五十錢）

光榮 本品は長く宮内省御買上
新製品、香油以上の美髮料
ホーカー美髮液 御試用を願ひます（一瓶三十五錢）
本舖 東京 堀越嘉太郎商店
各地到る處に取次販賣す

いろ〳〵の化粧品に
お迷ひなく
東京で一番評判よく一番賣行の好い
美人となる家庭唯一の御化粧料
ホーカー液と
朝な夕なにお使ひなさい
一番今は肌を大切になさる時、美容上の効果最も多く光榮、賣行、名聲共に赫々たるこのホーカー化粧液を缺かさず御使用遊ばせ、色はいよ〳〵白く、キメ細やかに、花の顏、雪の肌、眞に美しき天然の美人となります

ホーカー液の効
▼色を白くしキメを細かにし
▼アレを防ぎ肌をよくし
▼白粉下、白粉の上、水に一番よく生際色白く見ゆ
▼子供衆の肌を丈夫にし
▼男子方の剃刀後、湯や洗面後に
▼四季の日やけ、荒れに
▼香よく香水代用にもなし
▼常に缺さず用ひらるれば毎時美しく若々しき美顏となる

ベルベット石鹸

馥郁たる花の如き芳香を含めるベルベット石鹸は化粧用入浴用として最も理想的であります
製造元 日本リーバーブラザース株式會社

新刊書御案内

書名	著者	定價
時論及思索	桑木嚴翼	一、三〇
アツシジの聖フランチエスコ	中山昌樹譯	一、八〇
セヴアストオポリ	島田青峰譯	一、八〇
ブラジル移植民の眞相	伊東	九五
靜	水野鍊太郎	一、二〇
頭山滿と玄洋社物語續編	平井晚村	九〇
地獄	江馬修	七五
生命中心の哲學	三並良	八〇
認識論	紀平正美	一、二〇
銀笛	小杉天外	一、三〇
醒めたる女	坪内逍遙	一、〇〇
將棋はめて手の能	土井市太郎	三五
筆草	大町桂月	一、三五
正しき用字法	大町桂月	三〇
改正商業通信	石川文吾	一、三〇
論貸金取立法と貸倒れ復活策		一、三〇
家庭化學遊戲		一、二〇
朝鮮風俗集	今村鞆	一、八〇
兒童遊戲の原理及教育法		一、五五
教育法眞髓		一、四〇

京城本町電話二〇八番 振替京城二五七二 大阪屋號書店

廣島名産 山まゆ織
各地品揃御一報次第見本進呈す
廣島市大手町一丁目 高橋光時商店 振替大阪一二〇六九

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
吉丸 十月二十日後四時出帆
若代丸 十月十六日後四時出帆
神代丸 十月十八日後四時出帆
大和丸 十月 日後五時出帆
仁川海岸通 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十月廿六日後五時出帆
○元山、城津、淸津、浦潮行 十月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 十月十九日後五時出帆
○ 十月廿八日後十時出帆
○木浦、群山、仁川、鎭南浦、城津行 十月廿二日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三平野丸 十月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大眞丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
釜山本町 大池回漕部

共同汽船仁川出帆
第二共同丸 十月十五日後七時入港 十月 後九時出港 芝罘、大連行
第一阪鶴丸（元山出帆）城津、淸津、浦潮行 月 日後九時 月 日出帆
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 十月十五日前八時出帆 十月十六日
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城代理店 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航所屬船は遠洋航路を除く門司連絡の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 宮島丸 十月十九日 讃城丸 十月廿二日 溫州丸 十月十五日 午後五時出帆
×○木浦、釜山、長崎行 ×安東丸 十月廿四日 ▲天智丸 十月十八日 午後二時出帆
○鎭南浦、大連行 ×安東丸 十月二十日 ×天智丸 十月 日 午後二時出帆
○○鎭南浦、關門、神戸、大阪行 月 日 月 日 正午五時出帆
○△△群山、釜山、横濱行 千珠丸 十一月一日 チヨイサン丸 十月廿一日 午後四時出帆
○△△大連直行 千珠丸 十月廿七日 チヨイサン丸 十月十六日 正午出帆
○元山、淸津、浦潮行（釜山出帆）▲は城津西湖津に寄港 宮久丸 十月十九日 城津丸 十月廿九日 午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）基隆丸 十月廿九日 商丸 十一月六日 午後四時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及所屬汽船會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘船相成度候 ○×印は一等客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番、二〇番、五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十一月廿一日 正午出帆
三河丸 十一月八日 正午出帆
高砂丸 十月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番三三番 支店、出張所、代理店、荷客取扱店 京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店（電話一二一七）
全羅丸 十月十五日／京畿丸 十月廿五日／黃海丸 十月廿九日／咸鏡丸 十月十九日 釜山發 門司より釜山各港寄港雄基回航のこと
昌平丸 十月二十日 元山發
頭城丸 十月十六日 元山發 元山より各港經由雄基行
竹忠丸 十月廿四日 元山發
忠淸丸 十一月一日 元山發 城津、淸津、浦項行夜航釜山經由門司
永興丸 毎月廿八回 元山發 北久味、行船浦行
嘉島丸 十月十六日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港
江陵丸 毎日（釜山）（浦項）發 長生浦、方魚津寄港
三浦丸 十月廿一日 釜山發 長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行
海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發 各港經由濟州行
順天丸 三日目毎 木浦發 各港經由麗水行麗水より釜山行に連絡
慶興丸 十月十七日 木浦發 各港經由濟州島行（月八回）
公州丸 十月廿三日 木浦發 南多島海列島行（月三回）
淸信丸 十月二十日 仁川發 海州鎭南浦行
江原丸 十月十六日 仁川發 芝罘、大連、育島行
麗水丸 十月十九日 仁川發 各港經由木浦行
南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、喬桐島、海州行
平安丸 十一月十三日 群山發 十一月十六日 若松發 往航大黑山、木浦、門司、若松行 復航門司、木浦、群山行

汽車發着（京釜線・京義線・湖南線・京元線 時刻表）[illegible]

祝全國商業会議所大会

實業大會

朝鮮大共進會の開催を機として各種大會の開催せらるゝもの頗る多く、最近には全國金融業者の大會の催ほされ、本日は又全國商業會議所並に滿洲實業團體聯合懇話會の開かるゝを見る。

始政五年朝鮮開發の治績の如何に顯著なるかは物産共進會に依りて遺憾なく紹介されしと謂ふも可なり、斯くして内地人の朝鮮に對する誤解の漸次除去せられ、實相の周知せらるゝに從て、富源の開發、産業の振興、倶に今後益々其歩を速かならしむべきは吾人の信じて疑はざる所なり。

此度商業會議所の盛集に來り列する内地並に滿洲に於ける幾多の實業家諸氏は、此の大會に依りて必ずや各自に會得し首肯するもの多々之れ有らむ。少くとも朝鮮が内地及び滿洲の間に介在して經濟上如何なる地位に在り、今後如何なる使命を負うて發展せざる可らざるかは、諸君が犀利なる經濟眼を以て直ちに看取する所たらむ。

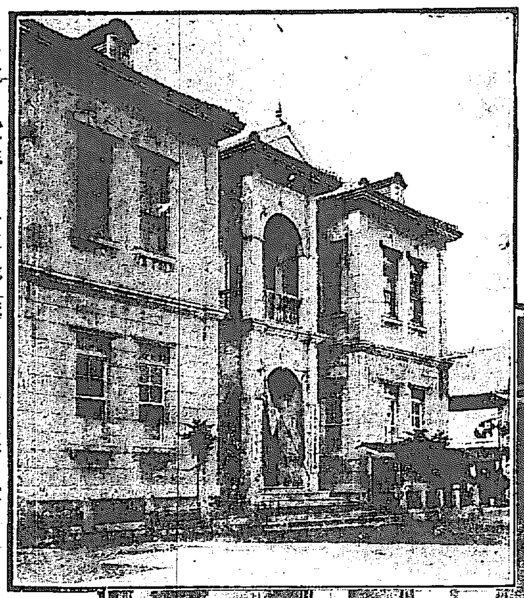
今や日露の關係は膠漆も啻ならず、滿蒙經營の前途は頗る多望なり。而して日露日滿の經濟連鎖として斯の半島の使命は恰かも朝鮮鐵道が國際の大道幹路たるが如く、實に將來重大なるものあり帝國の大陸政策に於て朝鮮の開發は絶對の價値を有す。冀くは此の絶好の機會に於て内地朝鮮滿洲の實業家が、充分に意思を疏通し、以て帝國の經濟發展に貢獻するの大方策を確立せむことを。之を祝詞とす。

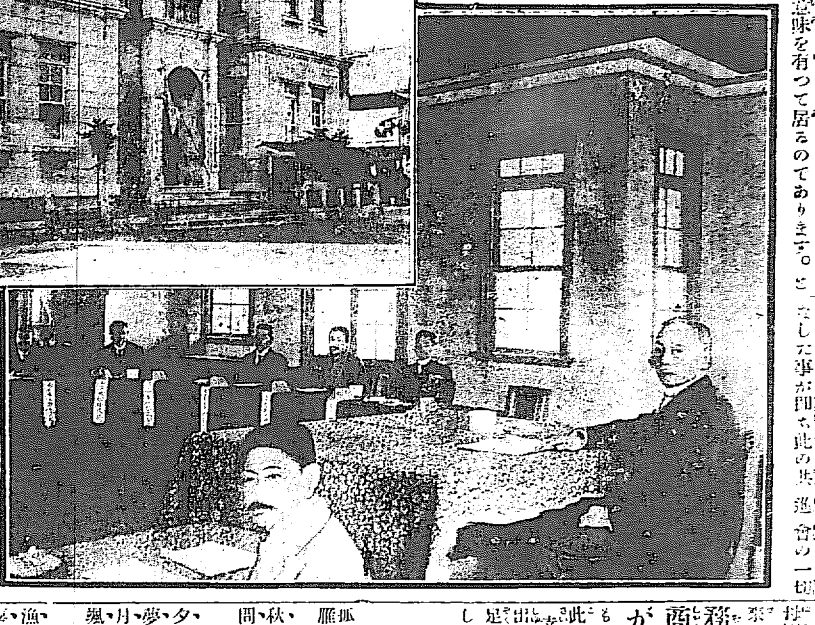
商議實業團懇話會に就て
内地滿洲よりの參列者諸君に冀望す
青木商工課長談

始政五年記念朝鮮物産共進會の開期を機として全國商業會議所並に滿洲實業團懇話會を開催するに當り斯く有力な多數の商業團體代表者諸君が參列さるゝといふ事は發企者側の面目は勿論、職に其局に在る吾人は裨益する處の鮮少ならざるを慶して洵に欣慶に堪へぬ次第である、抑も

朝鮮商工界將來の發展に

朝鮮の商工界が新政施行以來順次健全な發達の機運を呈しつゝあるはいふ迄も無いことであるが**工業の如きは尚ほ甚だ幼稚**であつて大正三年中に於ける總産額は漸く三千萬圓に充たぬを思へば海陸産業の驚く可き發達に比し今後に**俟つ可きものは極めて多大**であるといはねばならぬ、朝鮮が如何に工業的材料に豐富であり如何に多望の前途を持つかは景福宮内の**共進會が事實に證明**してゐるから玆には贅せないが、獨り工業の發展が稍く遲々たる所以のものは**資金の貧弱と企業其人を得ない爲め**であつて之れを商取引の上に見るも昨年の輸移入總額約六千萬圓は其大部分加工精製品であつて半數に充たぬ三千萬圓の輸移出品は殆んど其原料に依つて占められてゐる狀態であるから、諸君は製造工業の振作が經濟上如何に焦眉の問題であるかを知らるゝと共に**豐富な諸種の原料が如何に諸君の投資を俟ち起業に焦れてゐるか**を推知さるゝことが出來るだらうと思ふ、世には鮮内への投資若しくは企業に對して會社令の不便を云爲する向きもある樣であるが其れは大たる誤解で之れを許可主義としたのは泡沫會社の濫興を防遏し健實な企業を保護せんとする政策に外ならぬのであるから有力な企業家若くば投資家に取りては多大の便宜を與へる譯である諸君は此機に於て親しく鮮内の現狀を視察し將來を慮りて汎く其實情を紹介せられて自他共に投資を盛ならしめ産業の振作と共に**相互の商取引をして益密接**ならしめられむことを切望する





京城商業會議所(左上)と會議室(右下)

會議所の聯合懇話會
必らず目的を達すべし
原田金之祐氏談

京城日本人商業會議所會頭原田金之祐氏

始政五年記念朝鮮物産共進會を開かれし機會に於て、全國商業會議所聯合懇話會を企てました事は多少の意味を有つて居るのであります。と申すのは、總督政治が開始せられて僅か五星霜に過ぎないのでありますけれども、而かも其間終始一貫して一視同仁の下に同化を促がされ、敎育に、土木に、交通に、其他殖産興業等總ての方面に致されたる努力の成蹟が著しく顯はれた事は實に驚くべきものであります。**白紙と申したいけれども、寧ろ汚れた紙を**、その汚れを淨めつゝ、一面色彩を施こして今日の如くなした事が即ち此の共進會の一場に歷然と展列されてある。此間の努力は實に察するに餘りあるのでありますが、又其の表はれた顯著なる成績は驚くべきものであります。由來朝鮮の實情といふものが、母國に研究される事が甚だ疎かになつて居り、偶に視察をして其の消息を傳ふるものがあつても、多くは**一斑の觀察に止り全豹に及ばず**、況んや一斑の觀察に於ても多くは皮相の觀であつて、誤まり傳へられることが多く、常に甚だ遺憾とする所でありましたが、如何に人を勸めて朝鮮の視察をして貰つても、有力な人は必らず忙しくて時日がなく、十三道を洽ねく視察して貰ふことは到底思ひも寄らぬ、併しながら、何時かは見て貰はねば母國に廣く朝鮮を紹介することも出來ないので、幸に今度の共進會が開催せられ、十三道の狀勢を秩序よく景福宮内の一場に展列せられ、殊に**審勢館など申す大變に良い趣向**のものが出來て、十三道の大綱といふものが見られるのでありますが、而して一號館二號館を見ますれば、之が綱に對する目となり**初めて綱目を見て明かにする事が出來る**のであります。此時に當り内地の有力な人を誘ふて之を一目の下に觀察をして貰ひ始めて朝鮮の現狀を自らも研究し、又母國へも充分に紹介して貰ふ事が出來るのであります。而して此の任**務を有するものは蓋し商業會議所といふものが一番適切に**之れに當るべきものであらうと思ひます。即ち私共は此の大會を催した所以でありまする、幸に多くの有力者が贊同せられて出席して貰ふ事が出來ましたので滿足之れに過ぎません。必ず目的を達し得る事と確信致します。

停雲會詩集

之亭先生示以撫松詞伯入雲出雲帖不覺興敬仍和以呈、　錦堂朴天表

抵燈烱結冷成灰。多少歸心入夢栽。白雁飛飛天際去。出雲回首是蓬萊。

雁南飛　夢遊宋憲奭

秋、深江國雁南飛。黃、葉蕭蕭草色微。佳、問瀟湘何處是。沙明水碧月生輝。之亭曰第二微字未洽、

押花二首　雲煙大道白

夕、陽帆影滿江涯。一葉輕舟晚刺沙。醉、夢醒來漁火過。月光千里照蘆花。

月、光千里照蘆花。兩岸金波恰似蛇。颯、颯秋風吹不盡。一時飛散落誰家。之亭曰飄灑

同　芙蓉蘇生十郎

漁、村多是白沙家。潮去潮來淨白沙。蘆、蒂肥秋正好。一灣明月半蘆花。之亭曰結語頗爽。

同二首　撫松

江、天夜色白于沙。對岸遙看三兩家。風、擺雨聲枯葉戰。月前鳧鳥滿汀花。

秋、深水國聲哀笳。兩岸蓬蓬落日斜。雪、滿漁簑人不見。竹竿動處又飄花。之亭曰是個蘆花家丈人。

芙蓉

茶、香酒味入秋生。坐覺吟腸詩骨清。夜、久月明人不到。桂陰移榻半蟲聲。之亭曰咸物當如是。

竹圃

短、蓆老屋月初橫。野話農談共和情。夜、靜人歸眠不得。吟蟲切切報秋聲。之亭曰靜中得話。

同　雲煙

秋、人一夜不堪情。起步前庭看月明。唧、唧啾啾何所訴。無心却作斷腸聲。之亭曰情想到聲。

同二首　撫松

空、庭月白露光清。暗、蓄人堂寒已生。停、手思深機上婦。今宵不耐弄梭聲。

展、卷家書別短檠。追懷往事坐深更。讀、添一夜羇窓恨。草裡千千唧露聲。之亭曰讀唐風不聞是般聲。

祝共進會開催

京城電氣株式會社

祝家庭博覽會

祝共進會開催

株式會社 漢湖農工銀行　京城南大門通一丁目

株式會社 朝鮮商業銀行　京城南大門通一丁目

株式會社 漢城銀行　京城南大門通一丁目

株式會社 韓一銀行　京城南大門通一丁目

株式會社 第一銀行京城支店　京城本町二丁目

株式會社 十八銀行京城支店　京城黄金町二丁目

株式會社 百三十銀行京城支店　京城本町一丁目

株式會社 京城銀行　本町二丁目

朝鮮貿易の過去及現在
顯著なる發展の趨勢

朝鮮の貿易は併合前に在りても經濟の發達に伴ひ年々增進の實蹟を示せりと雖も、併合後に於ては産業上に於ける政府の諸般施設奬勵並に民間企業の勃興に因り貿易の發展顯著なるものあり今併合前後各五箇年に於ける貿易發展の狀況を比較するに左の如し

	輸移出	輸移入	合計
自明治三十八年至同四十二年 併合前五箇年平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]
自明治四十四年至大正三年 併合後五箇年平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]

備考　本表は金銀地金を含む

前表に據り併合前後各五箇年の平均貿易額を見るに併合前に在ては輸移出一千八百五十一萬六千圓、輸移入三千七百五十五萬九千圓、合計五千六百七萬五千圓なりしもの、併合後に於ては輸移出三千四百十萬一千圓、輸移入五千九百二十一萬九千圓、合計九千三百六十二萬一千圓となり之を併合前に比し輸移出は十八割六分、輸移入は十五割八分、出入合計十六割七分に膨脹せり

▲貿易益々進展　斯の如く併合後に於ける朝鮮貿易は出入とも增進顯著にして唯だ大正三年の輸移入貿易に幾分の減退を見たる而已なるが之れ主として時局の影響並に一般的財界不況の結果にして一時の現象に過ぎざるものと信ず而して叙上併合後に於ける貿易增進の事由に至りては固より一にして足らずと雖も畢竟財政經濟に在りては政府の産業上に於ける諸般施設、指導、奬勵等著々其效果を現はし、朝鮮産業の大宗たる農業は其面目を一新し水産、鑛産界に於ける遺利の拾集せらるゝもの漸く多きを加へ、從來殆んど見る可きものなかりし製造工業亦漸次勃興の機運に向ひたる等に因り各方面に於ける生産物は著しく其産額を增進し、品質は改善せられ、交通機關の發達、關税制度の改善、金融機關の普及等と相俟ちて貿易上の地盤漸く鞏固となり、又た輸入貿易に在ては時世の進運に伴ふ鮮民生活程度の向上、購買力の增進、内地人移住者の增加等に基因する日常消費力の增大及び政府の産業上に於ける施設並に民間投資に基く各種企業材料の輸入增加に因るものとす

▲主要通商國　朝鮮との通商國は併合前に在りても内地を主としたるが併合後に於ては兩者の貿易關係一層密接の度を加へたるは注目すべき所なりとす、今明治四十三年以往三箇年並に明治四十四年以降四箇年の平均貿易額に就きて之を觀るに併合前に在りては内地以外の諸外國と朝鮮との貿易は千九百七十七萬圓にして内地との貿易は四千三百十六萬七千百四十一圓なりしが併合後に於て外國貿易は三千百十三萬圓となりて併合前に比し千百三十六萬圓、即ち五割七分を增加したるに對し、對内地貿易は六千八百七十一萬五千圓となりて二千五百五十四萬八千圓即ち五割九分の激增を來せり、而して朝鮮との通商國は漸次其範圍を擴大し現今に在ては遍ねく世界の各方面に涉るに至れるも就中主要なるものは支那、英國、米國、露領亞細亞等なり

▲主要貿易品　朝鮮の貿易品は輸出に在ては米を第一とし金、大豆、牛皮、棉花、魚類、鐵鑛、石炭、紅蔘、生牛等にして併合後五箇年間に於て孰れも著しき增進を告げたり又た併合後新に貿易品として注目す可きもの種々あるも就中繭、葉煙草、亞鉛鑛、製革、紙卷煙草、罐詰等は最も有望なるものとす次に輸入に在りては綿織物、米、絲、鐵、石炭、酒、砂糖、石油、木材、機械、粟、小麥粉、麻織物、絹織物、毛織物、鐵道材料等にして右の内併合後に至り著しく輸入額を增加したるものは米、粟及び各種企業材料等なるが米、粟の增加は大正二年に於ける米價騰貴の結果、鮮米代用品として低廉なる外國米及び滿洲粟の需要一時激增したるに因るものにして決して恒久的輸入品と目す可きにあらず、現に本年に入りては輸入額頓に減退を示せり併合後朝鮮に於ける産業發達の結果、鮮内生産品を以て輸移入を防遏するに至れるもの尠からざるが、就中製造煙草の如きは最も著しき例證にして併合前に於ては百萬圓以上の輸入額を計上せしが爾來逐年減少して大正三年に於ては僅かに十七萬五千圓を算するに過ぎざるに至れり

此他貿易に關する時局の影響、本年の貿易等多數の資料あるも茲には餘白なきを以て次の附錄に讓ることゝなせり

朝鮮の商業會議所
新法令の發布と共に新機運に向はんとす

朝鮮に於ける内地人商業會議所は何れも事官又は理事官の認可を受けて設立したるものにして爾後定款の變更其他重要なる事項は總て認可を受け來れり其定款は何れも内地の商業會議所法に準じ其の業務は内地の商業會議所と大差なく附帶の事業として仁川、釜山、鎭南浦、群山、木浦、元山等に於ては米穀或は棉花、干鰯、繩叺等の檢査を爲し又釜山、鎭南浦、木浦、元山等に於ては倉庫若は商品陳列館を經營せり從來此等商業會議所に關しては朝鮮に於ては別に據る可き法規とてはなく舊來の慣例に從ひ其成立を公認し道長官は之れが監督の任に當り定款中地區、事務權限、議員の選擧權に關する規定の變更其の他重要なる事項は總督に經伺の上處理し來りたるものなり

▲會議所令の發布　從來は斯の如し更らに時勢の進運と時代の要求とに應じて本年七月制令第四號を以て朝鮮商業會議所令を同八月同令施行規則を發布し今十月一日より之れを實施することゝなりたり朝鮮商工業の進歩發達愈々是より般ならんとする機運に際會したりと云ふ可し同施行規則に於ては團體の組織、權限及び監督に關する詳細の規定を設け内鮮人共同して會議所を設立せしめ有効に其存在の機能を發揮せしむると共に諸般弊害の防止を期せり

▲朝鮮人會議所　朝鮮人の設立に係る商業會議所は舊韓國時代に於て農商工部大臣、觀察使又は府尹の認可を受けたる等其の取扱區々に涉りしが其の組織は概ね内地人商業會議所に模倣し業務として未だ見る可きものなきも今回發布されたる商業會議所令に基き内地人と相提攜したる有力なる商工調査機關を造るの時となりたらば漸を追て比較的幼稚なる朝鮮人の商取引上にも甚大の改良發達を見るに至るの日近きにある可し

▲商業會議所の概況　今總督府が大正二年十二月末日現在を以て調査したる内鮮人商業會議所の現況を掲ぐれば左の如し（豫算は大正三年度議員數中には特別議員を含まず）

▲内地人商業會議所

會議所在地	議員數	豫算額
京城	三二	九、六九六
仁川	二四	六、七七七
群山	一三	一、[illegible]四四
木浦	一六	六、二九八
大邱	一一	二、七四一
釜山	二一	八、二一三
馬山	二〇	一、六二〇
鎭南浦	一八	四、五二〇
元山	二〇	七、七一〇
清津	一二	一、〇一六
總計	一八六	五六、七三二

▲朝鮮人商業會議所

會議所在地	議員數	豫算額
京城	五〇	七、五二〇
仁川	二四	九七一
開城	四〇	不詳
水原	一三	一、三八〇
江華	不詳	一四〇
大邱	三〇	一、〇二〇
全州	一四	一、二三〇
釜山	二〇	一、六三二
平壤	一八	八五六
義州	一五	三〇〇
三和	三〇	一、七七〇
元山	四〇	一、〇三五
咸興	三〇	五四二
北青	四〇	一五〇
總計	三六四	一七、五四七

京城日本人會議所の沿革
明治二十年の創立

京城に於ける日本商人も漸く增加し泥峴の中部即ち今の本町通りには日本人の所謂八十戸内外を構ふるの盛況となりし明治二十年二月に至り、是れ等在留商業家の統一を圖かり且つ互間の利益を增進し京城に於ける日韓通商の發達進歩を助長す可き商業機關を設けんとの議起り中村再造、柳武貞、山口石動の數氏發起となり京城日本人商業會議所なるものを設置し時の領事より認可を得たり是れ今日の『商業會議所』の濫觴なり此時選ばれし役員としては會頭柳武貞、副會頭中村再造の兩氏なりき次で二十一年に至り商業會議所は總代役場と合併し一箇月八十圓の豫算を計上せり二十三年會頭木下淸兵衛氏の折商業會議所と總代役場との聯合事務所を移轉す即ち元の日本人會議所の島嵜病院是なり

▲總代役場と分離　二十四年に至り時勢の發展は總代役場と合併を許さゞるものあり時の居留地役場に建議して二十五年四月に及び遂に全く獨立の機關となり同時に『京城商業會議所』と名稱を變更したり之れ實に京城に於ける商業會議所の一新紀元を劃したるものと謂つべし二十六年時の會頭和田常市氏は韓國政府が發したる防穀令に對し地方より會せる委員と共に其撤廢運動に努むる等會議所の勢力漸く其大を加へんとするの機に到達するに至れり

▲韓政府の告示取消　二十八年會頭淵上久兵衛氏の時井上特命全權公使に對し金融業の發達に資す可き各種の請願を爲したり其後二十九年の京釜鐵道敷設運動三十年の報創刊三十一年の商品陳列所設置三十二年の京仁線開通と京仁間商工業の取引發展三十四年の商業會議所聯合會の數年を過ぎて三十六年には韓國政府の第一銀行券通用拒絶告示取消運動三十七年より八年にかけては電話增設鐵道運賃の遞減白銅貨交換等の重大事件の間に立ちて交涉盡力する處あり四十一年頃よりは一般商工業の調査を行ひて組合に對し甚大の利益を與ふる事尠少ならず

▲米税撤廢運動奏効　越えて四十四年及び大正元年には淸國貿易業者の組織又は朝鮮米穀移入税撤廢運動、商工調査會の創設等に大に力を注ぎ就中鮮米移入税の撤廢に就ては極力盡力する處あり遂に其功を奏し大正二年に至り其恩澤に浴するの途を開くに至りたり同年七月に至り同會頭死亡後久しく缺員のまゝなりし會頭に原勝一氏當選し鮮滿商業會議所大會を大連に開催したり大正三年に於ては特に記述するが如き記事無きも本年に入つては原田金之祐氏新會頭の選に入り近く新法令に依り鮮人會議所と合併し半島商工業の有力なる調査機關として愈よ重きを加へんとしつゝあり

新刊と讀物

▲皇族畫報（婦人畫報增刊）改訂に改訂を加へられたるもの最近版なれば此上なき皇族に對する畫報なり家庭必ず一冊を備へざるべからざるものなり（特價卅八錢東京市京橋區疊町一番地東京社）

▲東京パック（十月一日）定價金十三錢東京市下谷區西黑門町二十番地有樂社

▲實業の世界（十月號）三宅博士の乃木伯の家庭問題、幸田博士の無愉快の愉快を筆頭に澁澤男、福田博士其他の所論あり（定價十三錢東京市麴町一の四實業之世界社）

▲國民（十月號）七錢東京市神田錦町三丁目國民科大學

▲教育講談宮本武藏（定價金十錢東京市日本橋區呉服町卅二大江商店）

▲同上若葉（同）十五錢東京市日本橋區箔屋町一四其社

▲小學生（十月號）東京市澁谷エビス支教社

▲江戸（二の三）金廿五錢東京市小石川區原町卅一平山成信方江戸舊事采訪會

▲學生（十月號）桂月の飄逸なる一入調論を卷頭に高田文相の自殺問題一方大隈の戰爭談と商業（河津博士）戰敗の露國が歸へり（山根中將）其他此の雜誌特獨の色彩に富む（定價十七錢東京市神田區裏神保町富山房）

▲學生（大典記念名所舊蹟號）大町桂月の郷土論を序代りとして日本六十餘州の各殖民地を加へたる各名所舊蹟を愛讀者より募集し其當選せるものへ各其地出身の名士より談話を得て本號を生る稀に見る好的雜誌なり少年諸君の讀物として正に今秋第一誌ならんか（特價金卅錢東京市神田區裏神保町富山房）

▲家庭料理講義錄（菊の卷）東京市本郷區元町一の三東京割烹講習會

▲隨鷗集（一三二）東京府豐多摩郡千駄ケ谷町五二四隨鷗吟社

▲戰友（六四）東京市麴町區飯田町二の五二帝國在郷軍人會本部

▲海紅（十月號）一冊廿錢東京市下谷區上根岸海紅社

▲少女畫報（秋期特別號）口繪もお話も御伽小說も面白いのが澤山あります（特價二十錢東京市京橋區疊町一番地東京社）

▲新少女（秋期特別號）澤山の讀物の外に『我子よ』（よとく歸れ）『夢への少女の部屋』（渡井佐久子）が添へてあります（特價金拾五錢東京市雜司ケ谷上屋敷一四婦人の友社）

▲演藝畫報（十月號）日本の芝居、西洋から來た芝居其他芝居に關した總ての事が集められてある秋の夜長の讀物見物として家庭此上もない一冊子なり（定價金卅五錢東京市京橋區南佐柄木町七其社）

ミツワ石鹸

擔任技師　工學士 藤野太治郎　工學士 越智主一郎

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の强鹹加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるのみならず尚ほ左の性狀を具備す。

原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。

溫雅の芳香を有す。

細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹸なり

▲賣捌＝全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

本舖　ミツワ石鹸　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　登錄商號　丸見屋商店

東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
電信略號（〇ミヤコ）
振替口座東京七一〇〇番
特長浪花三〇〇番
營業部電話浪花四四八番・四四九番・四五〇番